

顧客本位の業務運営に関する 取組方針と取組状況について



CEO Message



近年、「貯蓄から投資へ」の流れはより一層加速し、資産運用立国の実現を目指す国の後押しも続く中、資産運用会社への期待感がこれまで以上に高まっていると感じています。

社会からわれわれ資産運用会社への期待の根幹にあるのが「顧客本位の業務運営」です。当社は、「未来の可能性を拓き、真に“豊かな”社会を育む。」というビジョンのもと、お客さまの大切な資産をお預かりし、その成長に貢献することを使命としてまいりました。受託者精神に立脚した信託グループの運用会社である当社にとって、「顧客本位の業務運営」はあらゆる業務の出発点です。

お客さまからのご期待にお応えするため、当社は、お客さまの多様な投資目的やリスク許容度に応える高品質な商品・サービスの提供に努めています。加えて、商品開発から運用、情報提供に至るまでの各プロセスにおいて透明性を確保し、分かりやすい情報発信を通じて、お客さまがご納得しながら投資判断を行っていただける環境整備を進めています。

こうした価値提供を支える基盤として、当社は運用力の高度化に注力し、中長期的かつ安定的な資産形成に資する付加価値の創出を目指しています。さらに、利益相反管理の徹底やガバナンスの高度化を通じて、お客さまの最善の利益を実現する体制の強化にも継続的に取り組んでいます。これらの取り組みを実効性あるものとするため、高い専門性と倫理観を備えた人財の育成にも注力しています。

当社は2018年より毎年、顧客本位の業務運営に関する取組方針とその取組状況をお客さまにお知らせしてまいりました。本年は、より一層お客さまに分かりやすい情報をお届けするために、資料のデザインを刷新するとともに、お客さまが当社の提供する商品に安心して投資いただけるよう当社の全ての公募投資信託に関する定点検証の状況を開示することといたしました。

当社は、今後も顧客本位の業務運営を一層深化させ、お客さまに長期的な信頼と価値をお届けし続けてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小林 隆宏

■ FD行動計画の主な実施状況について

- I. 資産運用の高度化
- II. お客様の多様なニーズに応える商品・サービスの開発提供
- III. お客様本位の分かりやすい情報提供
- IV. 専門性の向上
- V. 経営の独立性を確保したガバナンスの構築・強化

■ KPIの進捗状況について

1. SMTAMの公表KPI一覧
2. 運用KPI
3. 補足ご説明

■ プロダクトガバナンスに関する取り組みについて

1. プロダクトガバナンス体制
2. プロダクトの定点検証
3. 2025年度の定点検証の状況
4. 2025年度の商品管理の状況
5. 情報提供について
6. ファンドレビュー
7. アクションプラン
8. 繰上償還の検討

※本資料の対象期間は、2025年4月1日から2026年3月31日までとしております(一部、当該期間外の内容を含みます)。
また、特段の記載がない限り、掲載データは2026年3月末時点のものです。

FD行動計画の主な実施状況について



I. 資産運用の高度化

1. 明確で合理性のある投資方針の策定や効果的なPDCAの実施により、適切な資産運用体制を維持します。

(1) リサーチの高度化と新たな資産運用手法の開発に取り組み、自社運用を強化します。

✦ 改訂 ✦

運用力の高度化の観点から以下の取り組みを実施し、運用収益の獲得力の底上げと運用ブランドの引き上げを継続しました。

ファンダメンタルリサーチ

- ◆ 企業価値向上に向けたエンゲージメント活動の知見を投資判断に活用する「日本株式バリューアップ・エンゲージメント戦略」(2024年度設定)について、商品性の強化を図りました。
- ◆ リサーチ機能を活用した新たな戦略として、クオンツ、債券、パッシブの各領域において自己資金を投入し、本格的な運用開始に向けたシード運用を開始しました。

ESGリサーチ

- ◆ 関係省庁、有識者、ESG情報ベンダー等との意見交換を行い、ESGに関する制度動向や開示基準、ESGデータの活用に関する理解を深め、ESGリサーチの高度化に取り組みました。



プロダクト開発

- ◆ 提携先の英国Osmosis社との人材交流を通じてノウハウを身に付けた当社ファンドマネジャーによるファンドを開発、シード運用を開始しました。

データサイエンス

- ◆ オルタナティブデータ、生成AI活用等により、ファンドマネジャー向け投資判断情報の高度化を図りました。
- ◆ クオンツスキルとデータサイエンススキルの融合により、リサーチ体制を更に強化するため、データサイエンティストをクオンツリサーチユニットに再編しました。(2026年4月1日より)

I. 資産運用の高度化

1. 明確で合理性のある投資方針の策定や効果的なPDCAの実施により、適切な資産運用体制を維持します。

(2) 効果的なPDCAを定期的に実施することにより、運用の改善や見直しにつなげ、継続的な資産運用の高度化に取り組みます。

■ 月次でのモニタリングと、半年ごとに実施する定点検証を通じて、運用の改善や見直しに取り組みました。

- 各資産における月例運用報告会を継続実施し、運用状況について運用・リスク委員会への報告を行いました。半期定例のプロダクトガバナンスでは、アウトソースを含めた当社の公募投資信託について、ベンチマークや収益目標の設定状況をモニタリング項目に追加し、これらを必要に応じて設定するなど、プロダクトガバナンス強化を図りました。

(3) お客さまに提供する外部運用ファンドについては、適切なデューデリジエンスおよび継続的なモニタリングを実施します。

■ 新規に投資する外部運用ファンドに対するデューデリジエンスおよび既に投資している外部運用ファンドに対するモニタリングを適切に実施しました。

- 面談やアンケート等により詳細な調査を行い、継続的に投資適格性を検証する定性評価と、過去の運用実績(新規設定の場合は類似戦略の運用実績等)による定量評価を実施しました。
- 運用状況を確認し、商品特性等を勘案したうえで、ヒアリングなどの外部運用会社とのコミュニケーションを通じ、必要に応じて改善を促しています。



I. 資産運用の高度化

2. 日本版スチュワードシップ・コードを踏まえたエンゲージメント等への取り組みや、ESGへの取り組み等により、お客さまの利益の最大化を目指します。

(1)お客さまからお預かりした資産の中長期的な投資リターンの最大化を図るためのスチュワードシップ活動として、下記の取り組みを進めます。

- 投資先企業の中長期的な企業価値向上に資するスチュワードシップ活動を推進しました。
2024年7月～2025年6月のスチュワードシップ活動について「サステナビリティレポート2025/2026」として公表しています。

<p>① エンゲージメント</p>	<p>「企業にベストプラクティスを求める機会」と位置付けて、中長期的な企業価値向上に資する意見表明を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル(気候変動問題)を引き続き重要な課題と位置付け、企業とのエンゲージメントを推進しました。また、自然資本や人的資本、人権の問題についても、企業価値向上の観点から重点的なアジェンダとして取り上げ、対話を行いました。 ・30%Club Japanインバスターグループの活動を通じ、ジェンダーダイバーシティに関する当社見解の整理・発信をしました。
<p>② 議決権行使</p>	<p>「ガバナンスのミニマム・スタンダードを求める機会」と位置付けて、透明性の高い判断プロセスに則り、適切に行行使します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性役員の人数基準について、ダイバーシティ向上を後押しする観点から引き上げる方針を示すとともに、社内人材の登用に向けた施策の推進を評価する方向性をガイドラインに記載しました。 ・業績連動型ではない株式報酬制度・株式報酬型ストックオプションの付与対象者について、社外取締役を原則反対の対象から除外し、監査等委員である取締役についての例外基準を設置しました。
<p>③ ESG課題への対応</p>	<p>投資先企業がESG課題に取り組み、持続的成長ならびに付加価値を創造していくことを投資家として後押しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社のESGに関する取り組み内容や考え方について、国内外のセミナーやフォーラム等での講演・登壇を通じて発信しました。 ・社員のESGに関する理解向上を目的としたEラーニングの実施に加え、全社員向けに社内外の講師による勉強会を行いました。 <p style="text-align: right;">✦ 改訂 ✦</p>

I. 資産運用の高度化

2. 日本版スチュワードシップ・コードを踏まえたエンゲージメント等への取り組みや、ESGへの取り組み等により、お客さまの利益の最大化を目指します。

(2) 投資先企業におけるESG課題への取り組みを後押しするとともに、投資家の収益拡大を図ることを目的として、ESG要素を考慮した投資商品の組成および投資家の啓発活動に取り組みます。

✦ 改訂 ✦

- 金融庁が策定した「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」に基づくESGに関する公募投資信託の情報開示の内容に則して、当社のESGプロダクトに関する適切な情報開示を実施しました。
- ESG関連の運用商品普及に向けて、プロダクトラインナップの拡充と展開を検討しました。
 - ・ ESGプロダクトの公募投信への展開について、関係部との協議・検討を継続実施しました。既存のDCファンド拡販に向けた取り組みも継続して推進していきます。

3. お客さまにとって最良の条件で取引を執行します。

(1) 適切な発注先選定と発注手法の改善を実施することで執行コストを縮減します。

- 発注計画の見直しや、発注業務フローの効率化など、取引コストや所要時間の削減により資産運用の効率性を向上させる取り組みを実施しました。
 - ・ 売買執行力や事務対応力等に応じた発注計画の策定と継続的な見直し、計画に従った発注により、最良執行を継続しました。あわせて、一部取引を対象に発注先の評価内容を明確化し、説明力の向上を図りました。
 - ・ 2026年3月に新たな売買システムであるAladdinを導入し、正式運用を開始しました。あわせて為替取引の執行体制を強化し、より迅速かつ適切な取引環境を整備しました。



Ⅱ. お客様の多様なニーズに応える商品・サービスの開発提供

1. グループ内外のノウハウや機能・ネットワークを効率的に活用し、多様化するお客様のニーズにお応えして、資産形成に資する運用商品・サービスの開発・提供を継続します。

(1)グループの運用ノウハウの活用ならびにグループ外の商品を取り入れ、お客様の資産形成に資する高品質の商品ラインナップを整備します。

- 中長期の資産形成に資する新商品の開発、当社商品のラインナップ整備を実施しました。
- 2025年度は、米国偏重に対する懸念の流れを受け、「ブランデス欧州株ファンド」を新規設定しました。
- その他の新規設定ファンド
 - ・「インデックスコレクション(日経225)」
 - ・「My SMT ラッセル2000米国中小型株式インデックス(ノーロード)」
 - ・「My SMT ラッセル3000全米株式インデックス(ノーロード)」
 - ・「SMT 米国高配当&自社株買いファンド(年4回決算型)」
 - ・ SMTトレンドランキングシリーズ4本:
 - 「SMT 日本株式モメンタムファンド」、「SMT 米国株式モメンタムファンド」
 - 「SMT 欧州株式モメンタムファンド」、「SMT 中国株式モメンタムファンド」
 - ・「エキサイティング・コンテンツ関連 世界株式戦略ファンド」



(2)自助が求められる老後資産形成に資するNISAつみたて投資枠ならびにDC向けの商品ラインナップを充実します。

- 老後の資産形成に資する商品についても、積極的に新規設定とラインナップの拡充を実施しました。
2025年度も、NISAつみたて投資枠での採用ファンドを拡充したほか、DC向けの分散投資や長期投資商品の拡充を行いました。

NISA	「SMT 日本株配当貴族インデックス・オープン」をNISAつみたて投資枠に申請
DC	「DCターゲット・イヤー ファンド2065」を新規設定
	「DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2070&同2075」を新規設定
	「DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2070」を新規設定

Ⅱ. お客様の多様なニーズに応える商品・サービスの開発提供

2. 商品の組成・提供・管理のプロセスを含めたプロダクトガバナンスを実践します。

- (1) 商品組成においては、想定する顧客層に基づき、運用方針や収益源泉、各種リスク等の商品特性と、コスト水準の妥当性について検証します。
 - 組成を検討する商品については、想定する顧客層を設定し、当社の商品開発プロセスの中で、商品特性全般や価格変動や流動性などのリスク特性、信託報酬率や販売手数料率などのコスト水準の妥当性等について検証を行いました。
 - 公募ファンドについては特に十分な事前検証を行い、社内の商品委員会において2線のコンプライアンス部及びリスク管理部も参画して検証内容を確認の上、商品開発・提供の承認を行う体制としています。
- (2) 商品開発・提供に際しては関連する法令・諸規則等を遵守します。
 - 設定した公募ファンドについて、利益相反管理およびアームズ・レングス・ルールなどの観点から、事前に検証とリスク評価を実施し、問題がないことを確認しました。
 - 公募ファンドについては特に十分な事前検証を行い、社内の商品委員会において2線のコンプライアンス部及びリスク管理部も参画して検証内容を確認の上、商品開発・提供の承認を行う体制としています。
- (3) 提供するプロダクトについては、当初想定した商品性が確保できているか定点検証を行うとともに、お客様のニーズや運用環境の変化等も鑑み、必要に応じて繰り上げ償還等を含む確な対応策を策定し、お客様本位のプロダクト管理を実践します。
 - お客様に提供している商品の品質、パフォーマンス、残高や販売動向などを定期的に検証し、必要に応じて商品性の見直しや変更、繰り上げ償還等を実施し、商品管理の高度化を図っています。
 - 定期検証は、運用・リスク委員会での運用品質モニタリングと商品委員会での商品品質モニタリングを経て、経営会議で確認され、FD諮問委員会での外部委員を含む諮問・答申を受けた後、取締役会での監督に至る体制で実施しています。
 - 2025年度は6ファンドの繰上償還を実施しました。

Ⅱ. お客様の多様なニーズに応える商品・サービスの開発提供

3. 当社の資産運用サービスに対するお客様や販売会社等からのご評価やご意見を、サービスの高度化や体制強化につなげるよう取り組みます。

(1) 商品の複雑さやリスク等の金融商品の特性等に応じ、商品組成時に販売対象として想定したお客様の属性の事前連携と、実際にご購入されたお客様の属性の合致状況等の事後検証を行うことで、製販全体としての最適な金融商品の提供に努めます。

※当社は金融商品の組成に携わる金融事業者であることから、「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則6の注6は「非該当」としております。

■ 製販間の情報連携に関する業界全体での動きを踏まえた体制整備を進めています。販売会社様から受領する当社商品を購入された顧客層の属性データを活かし、製販全体として最適な金融商品の提供を目指していきます。

(2) 投資信託についてのお問い合わせ窓口を当社のホームページ上に開示し、販売会社からのご評価やご意見のみならず、お客様からの直接のご評価やご意見を承る体制を整備し、サービスの高度化等に繋がります。

■ ヘルプデスクに寄せられたお客様の声(苦情・要望)を社内で適切に情報連携し、お客様により分かりやすく、知りたい情報をお届けできるような取り組みを推進しています。

- お客様からのご要望を受けて、当社が発行している目論見書やレポートなどの改善に取り組みました。
- 「ヘルプデスクによくある問合せ」を題材にした当社の公式YouTubeコンテンツ「SMTAMの投信ちょこっと解説 ~こちらヘルプデスクです~」の制作、発信を継続しました。



(3) 年金などの機関投資家等のお客様の多様化するニーズに応じた商品のご提案、ご提供を行います。

- アクティブ運用・パッシブ運用の高度化に継続的に取り組むとともに、機関投資家のお客様の運用戦略、資金移動、レポーティング等の様々なニーズに対してきめ細やかな対応を行いました。また、スチュワードシップ活動に関する国内外での取り組み実績について継続して高い評価をいただいています。
- 海外の機関投資家のお客様には、海外拠点との密接な連携により、お客様のご期待に応える活動を継続しました。マーケット変動時のコメントや各種コラムを拡充する等、グローバルウェブサイトでの情報発信も強化しているほか、海外における各種投資家イベントへの参加や取材対応にも積極的に取り組みました。

Ⅲ. お客様本位の分かりやすい情報提供

1. お客様向けセミナー・販売会社様向けサポートの充実や、市場情報・市場動向に関する適時適切な情報提供等を進めるなど、お客様の投資判断に役立つ情報の提供を継続します。

(1)お客様のどのようなニーズならびに特性を想定して開発された商品であることを特定・開示し、お客様への適切な商品提供が行われるよう販売会社への情報提供を行います。

■ 新規の公募投資信託の想定顧客層について社内規程類に則り、適切に販売会社様へ情報提供しました。

- ・ 2022年から導入された重要情報シートへの対応を継続し、お客様の投資目的や投資ホライズン(想定投資期間)、リスク許容度を踏まえた商品タイプ(想定する購入層)の分類を行い、お客様の特性に応じた適切な商品提供と情報開示に努めています。

(2)お客様の資産形成に資すべく、長期投資、分散投資等の資産運用に必要な考え方等をお伝えするとともに、長期・分散投資に資する商品の適切な説明、運用状況のご報告の充実に努めます。

■ Webをはじめ多様な媒体を活用して、お客様の中長期的な資産形成に資する商品の情報発信や提案、運用状況等のフォローアップなど、お客様のニーズを先取りした分かりやすい情報提供を継続しました。

- ・ マーケット関連では、週次・月次・スポットで各種レポートやコラムを継続発信、動画では月次で「SMTAM's View」、重要イベント等のタイミングでJ-REIT関連情報の「J-REIT NAVI」を継続発信しました。市場急変時には、「マーケットレポート」や主要ファンドの「ファンドレポート」を迅速に発行するとともに、販売会社様向けのトラストONAIRを通じたタイムリーな情報発信を実施しました。
- ・ 商品に関しては、セミナーや勉強会の動画コンテンツを充実させました。また、SMT iPlusシリーズやETFに関して運用者本人が出演する解説動画を制作し、アクティブETFでは四半期毎に運用報告動画を配信するなどの拡充を図りました。投資初心者向けに、新NISA特設サイト等を通じ、コラム「まるわかり新NISA」や「投資タイプ診断」といったコンテンツを提供しています。
- ・ お客様に直接伝わる媒体の活用として、ホームページ、公式YouTubeチャンネル、公式LINEアカウント「SMTAM投信関連情報サービス」に加え、Instagram、Facebook、Threads、XのSNS公式チャンネルにて、当社ファンド関連の投稿を継続しました。

(3)お客様の資産形成・投資に対する理解促進を目的に、対面での情報発信ならびに当社ホームページや公式SNS等を活用し、金融リテラシー情報の発信を行います。

◆ 改訂 ◆

■ 投資教育や商品知識の普及など、「金融リテラシー」向上に向けた活動を積極的に実施しました。

- ・ 生徒・学生向けには、小・中学校への出前授業を年間合計10校(計1,128名)で実施しました。また、大学生団体USICとの協働により機関誌「SPOCK」に座談会を掲載したほか、青山学院大学経済学部団体(SBSL)と連携し、資産運用講座やWebイベントも開催しました。
- ・ 2025年度からは金融包摂活動の一環として、障がい者支援施設を運営するNPO法人との交流を開始しました。



Ⅲ. お客様本位の分かりやすい情報提供

2. お客様の投資判断に役立つ様に、商品性やリスク特性、手数料の透明性に配慮した説明を行うとともに、その基礎となる運用体制やプロダクトガバナンス体制についても分かりやすい情報提供を行います。

(1) お客様向けの目論見書ならびに販売用資料については、商品の特性や商品の保有するリスクの程度等を考慮した資料作りを行います。

- お客様にとって「分かりやすい・見やすい」資料作成に取り組みました。
 - ・ 資料の作成にあたっては、媒体(印刷、ウェブ、動画など)の違いを意識しつつ、投資家にとってより分かりやすい資料の作成を実施しました。
 - ・ 目論見書では2026年4月以降の目論見書における仕組債等を活用するファンドの費用開示拡充に先立ち、事前案内として、1月に投資家宛レター「目論見書『ファンドの費用』欄における記載内容の見直しについて」を当社ウェブサイトに掲載しました。

(2) 報酬・手数料については目論見書等においてお客様に分かりやすい適切な情報の開示を充実します。また分配については、「収益分配の基本方針」等に基づき、適切に決定していくとともに、分配の仕組みを理解いただけるよう分かりやすい情報発信を継続します。

- お客様の目線に立って、報酬・手数料などファンドのコスト開示や配分金の仕組み等について、より分かりやすい情報開示を目指しました。
 - ・ 2026年4月以降、目論見書において、仕組債等を活用するファンドの費用について、より分かりやすくお伝えするための見直しを行う予定です。この見直しに先立ち、その内容や背景についてお知らせするため、2026年1月に投資家の皆さま向けのレター「目論見書『ファンドの費用』欄における記載内容の見直しについて」を当社ウェブサイトに掲載しました。

(3) 当社の強みである徹底的かつ最先端のリーサーチやチーム運用など運用体制の特徴について分かりやすい情報提供を行います。

- 当社の運用体制について分かりやすい情報提供として、当社ホームページ上での情報提供を充実させました。
 - ・ 2025年度は、運用担当部署別の紹介ページの作成や、責任者および主要投資信託の運用担当者の氏名・経歴の掲載を行い、チーム運用による運用体制や意思決定プロセスがより具体的に伝わるよう情報を充実させました。引き続き、お客様にとってよりよい商品選択の材料となるよう、分かりやすい情報開示を進めていきます。

(4) プロダクトのライフサイクル全体を通じた品質管理の実効性を高める、当社のプロダクトガバナンス体制について分かりやすい情報提供を行います。

※当社は金融商品の組成に携わる金融事業者であることから、「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則6の注7は「非該当」としております。

- 当社のプロダクトガバナンスについて、本資料の36ページ以降にある「プロダクトガバナンスに関する取り組みについて」の中で開示しました。
 - ・ 商品の組成・提供・管理の各プロセスにおける適切な品質管理と、これらの実効性を確保するための当社のプロダクトガバナンス体制およびその取り組み、毎年3月末基準でのプロダクトガバナンスモニタリング(定点検証)の結果についても概要を開示しました。また今年度から新たに、当社の全ての公募投資信託を対象とした商品性や運用状況の検証結果を掲載し、検証の結果、運用状況等に改善が必要と判断した商品については、より詳細な情報を開示しています。


IV. 専門性の向上

1. 資産運用業務のプロフェッショナルを継続的かつ安定的に育成し、人材の定着と運用の継続性・再現性の確保を継続します。

(1) 良好な運用パフォーマンスの継続的な提供に繋がる運用人材の競争力維持向上に向けて適切に運用人材の評価を行うとともに、効果的な運用人材の育成を行います。



◆ 改訂 ◆

■ 資産運用業の高度化の観点から運用人材の専門性を向上させるため人事評価体系の整備・定着を図りました。

<p>運用人材の評価と育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 運用人材評価制度において、プロフェッショナルの育成に向け、より効果的な人材評価方法へ見直しを継続しています。具体的には、定性評価基準の見直しや、担当ファンドの運用残高・獲得粗利と処遇との関係性の分析を行うなど、より効果的な人材評価方法への精緻化を進めました。 企業リサーチユニットへ異なる専門性を有する人材の兼務配置を行い、キャリア形成の観点からも幅広い領域をカバーできる人材の育成を進めています。 次世代シード枠の活用では、アイデア募集の対象を全社に広げ、アイデア創出の活性化により商品化候補ラインナップの拡充を図りました。
---	---

(2) 資産運用会社として、専門性を軸に持続的に企業価値を創造するための人材ポートフォリオの構築に取り組みます。

■ 運用部門だけでなく全役職員がプロフェッショナルである集団を形成し、企業価値を高めていく人事制度と人材育成プログラムを導入しています。

<p>人事制度関連</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 社内業務公募制度(Job Challenge制度)を継続実施しました。社員一人ひとりのキャリアプランを踏まえ、能力ある人材や努力している社員にチャンスを提供し、部門と社員が選び・選ばれる健全な競争を促進することを目的とした人事運営を行っています。
<p>人材育成関連</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 全役職員のリスキリングやスキル向上を支援するための資格取得支援メニューや、外部研修での提供メニュー見直しを実施しました。 若手社員向けに、今後の業務での高度活用を見据えたデータハンドリング研修を実施しました。新入社員向けには業務における視野拡大、社内人脈形成を図るために短期ジョブローテーションを実施しました。 海外業務人材やデジタル人材などの拡充に向けて、各種研修メニューの提供とともに、自薦型の「人材バンク」運営を通じ、実践・体験型研修等の提供により、登録者のレベルに合わせた学びの機会を提供しています。

IV. 専門性の向上

2. 役職員のフィデューシャリー・デューティーの理解ならびに実践を進めます。

(1) 研修ならびに社内コミュニケーション等の場を通じて、フィデューシャリー・デューティーの取り組み、実践の意義と理解を徹底させることにより、お客さま本位の業務運営を推進します。

- フィデューシャリー・デューティー(FD)のさらなる強化・定着の観点から、全役職員のFDに対する理解を深め、その実践を推進しました。
 - 当社の「顧客本位の業務運営に関する取組方針と取組状況について」は、例年通り6月末に当社ホームページで公表し、金融庁に報告しました。また、社内ポータルにも資料を掲載し、FDに関する取り組みについて全社員への周知と理解の促進を図りました。
 - 社員の課題設定において、「FDへの対応」を全役職員の評価項目の一つに設定し、日々の業務を通じたFDの実践を後押しする運営を継続しました。
 - グループ合同で実施した2025年度の社員意識調査において「FDの実践・徹底とCSの向上が会社業績の向上にとって重要な取り組みであることを理解している」かを問う設問のスコアは良好となり、FDの実践の意義と理解が社内で浸透していることが確認できました。この調査結果については、全社員向けの説明会を実施し、分析を通じて把握した課題とその対応方針を共有しました。



V. 経営の独立性を確保したガバナンスの構築・強化

1. 持株会社ならびに系列販売会社からの独立性を確保する体制の構築・強化を継続します。

(1) 独立社外取締役の意見等も踏まえ、経営の独立性・透明性を確保した体制の整備・強化を継続します。

- 2025年度も独立社外取締役が取締役会の半数を占める体制を維持・確保し、取締役会における独立性を確保しました。
 - ・ 独立社外取締役と取締役会を通じて業務進捗および経営の重点課題を共有するとともに、経営の独立性やガバナンスの観点から貴重なご意見をいただき経営に反映させました。
 - ・ モニタリングボードとしての取締役会の実効性を一層向上させる観点から、2025年度より付議資料の要点化や報告議案の集約を図り、効果的な経営情報のインプットと、取締役会での重要テーマに係る討議時間の創出等、運営高度化に取り組んでいます。

2. フィデューシャリー・デューティー諮問委員会(FD 諮問委員会)からの提言を当社経営に活かします。

(1) 独立社外取締役ならびに外部有識者を含むFD諮問委員会を定期的を開催することで、当社のフィデューシャリー・デューティー活動全般について外部からの独立した意見・提言を受け、これを取締役会等に報告し経営に活かします。

- FD諮問委員会では、当社を取り巻く事業環境を踏まえ、顧客本位の業務運営に関する業務課題の取り組み状況を定点チェックし、経営に提言しています。
 - ・ 2025年度はFD諮問委員会を4回開催し、プロダクトガバナンスのモニタリング状況や、高度化対応方針について審議を行いました。また、顧客サポートや情報提供、金融リテラシー推進に関する各種活動、スチュワードシップ推進活動に関する報告を受け、多角的な観点から議論を行いました。委員からは情報発信における生成AIの活用方法など、今後の取り組みに資する多様な示唆を得ました。



V. 経営の独立性を確保したガバナンスの構築・強化

3. 議決権行使などのグループ内の利益相反管理の充実に引き続き取り組みます。

(1)「議決権行使ガイドライン」を必要に応じ見直しするなど、行使基準の客観性の向上を図るとともに、行使結果の個別全件開示を継続します。

- 議決権行使ガイドラインに基づく行使を適切に行うとともに、ガイドライン適用・解釈に幅がある個別議案に関しては、「スチュワードシップ活動諮問委員会」への諮問・答申を経て行使判断を行うことで、利益相反管理の徹底に努めました。
 - ・ 2025年度には、女性役員の人数基準について、ダイバーシティ向上を後押しする観点から引き上げる方針を示すとともに、社内人材の登用にに向けた施策の推進を評価する方向性をガイドラインに記載しました。当社では投資先企業の全ての議案について賛否理由を含め当社ホームページ上で開示し、議決権行使状況の可視性を維持しています。新たに、保有株式に関する投資先企業からの照会への対応方針についてホームページでの開示を開始しました。

(2)「利益相反管理方針」に基づき、グループ内の利益相反管理に適切に対応します。また「利益相反管理方針」については、必要に応じ見直しするなど、実効性ある利益相反管理体制の整備を継続します。

- 「利益相反管理方針」に則って、利益相反のおそれのある取引等を適切に管理し、コンプライアンス部において、継続的にモニタリングを行い、利益相反事例がないことを確認しました。また、社内研修において利益相反の事例演習を取り上げ、ルールの再徹底を行いました。

4. お客さまにより良い商品を提供するための明確な方針として策定した「プロダクトガバナンスに関する方針」に基づいて構築した体制を維持し、実践します。

◆ 改訂 ◆

(1)お客さまにより良い商品を提供するための明確な方針として策定した「プロダクトガバナンスに関する方針」に基づいたプロダクトガバナンスを実践します。

◆ 改訂 ◆

- 当社では2025年4月1日付で新たに「プロダクトガバナンスに関する方針」を策定し、当社ホームページ上で公表しました。当社はこの方針に則り、お客さまにより良い商品を提供するためのプロダクトガバナンスを実践しています。

(2)当社商品のライフサイクル全体を通じた実効性あるプロダクトガバナンスを実践するため、組成・提供・管理の各プロセスにおける適切な品質管理体制を維持・運営します。

◆ 改訂 ◆

- 当社商品の組成・提供・管理の各プロセスにおいて、運用・リスク委員会や商品委員会による継続的なモニタリングや定点検証による徹底した品質管理を実践しています。
- これらのプロダクトガバナンスの取り組みについては、経営会議で報告を受けて審議するとともに、FD諮問委員会への諮問と答申を受けた取締役会の監督を受けており、より効果的な体制への高度化を継続します。

KPIの進捗状況について

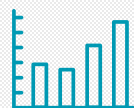


KPIの進捗状況について

1. SMTAMの公表KPI一覧（2026年3月末） ※成果指標であるKPIについての進捗状況は以下の通りです。詳細は次ページ以降をご覧ください。

① インデックスファンドの数(本)

73本



② つみたて(長期資産形成向け商品)の残高推移(兆円)

3.66兆円



③ 商品ラインナップに占めるバランス型ファンドの比率(%)

32.1%



④ 分配金比率(%)

1.17%



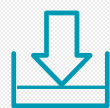
⑤ 毎月決算型ファンドの純資産総額比率(%)

9%



⑥ 公募投資信託の繰上償還件数(件)

6件



⑦ セミナー・勉強会の開催数(件)

5,876件



⑧ コーポレートアクションのあった企業数と件数

404社 947件



2. 運用KPI

① バランス型ファンドの運用実績1

- ▶ リスクとリターンの関係
～投資効率の向上～

5年超の運用実績を持つ当社の公募バランス型ファンドは、過去5年のシャープレシオが0.92

② バランス型ファンドの運用実績2

- ▶ リターンおよびシャープレシオの他社ファンドとの比較

当社のバランス型ファンドは他社ファンド平均を上回るパフォーマンス

③ 残高上位20ファンドの保有期間

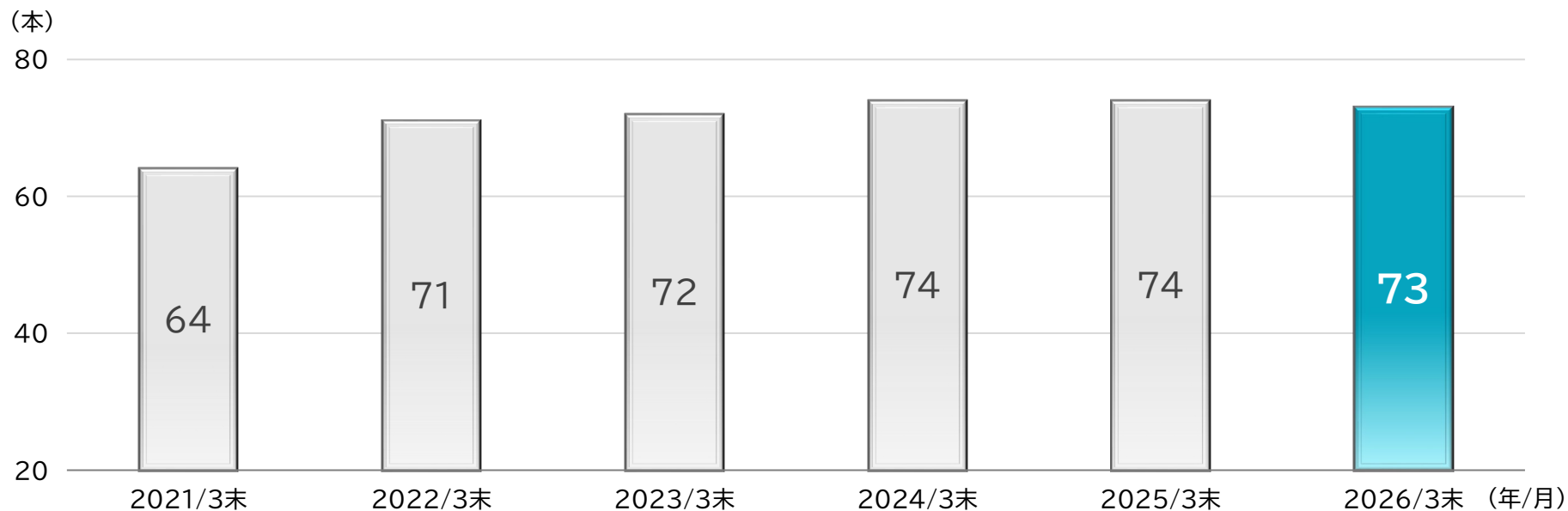
- ▶ 長期保有によりマイナスリターンが発生する確率を抑制
- 当社の残高上位20ファンドの平均保有期間は7.6年と市場平均の4.9年を大きく上回る

1.SMTAMの公表KPI一覧

① インデックスファンドの数(本)：積立・分散投資に資する商品の提供

- 当社は、お客さまの資産形成に資するファンドとして、インデックスファンドの運用に力を入れています。お客さまの多様なニーズにお応えするため、投資地域や資産の異なるファンドを豊富に取り揃えて商品ラインナップを拡充しています。
- 運用コストを抑えながら効率的な運用を希望されるお客さま向けに、インデックスファンドの拡充に努めており、当社のインデックスファンドの本数は2026年3月末で73本となっています。

インデックスファンドの数(本)



【注】インデックスファンドはSMA(*)用ファンド、DC用ファンドを除く。

(*) SMA: Separately Managed Accountの略。一般にラップ口座と言われ、金融機関が投資一任契約に基づき、投資家から預かった資金を投資家の運用方針に従って一括して運用・管理する口座。

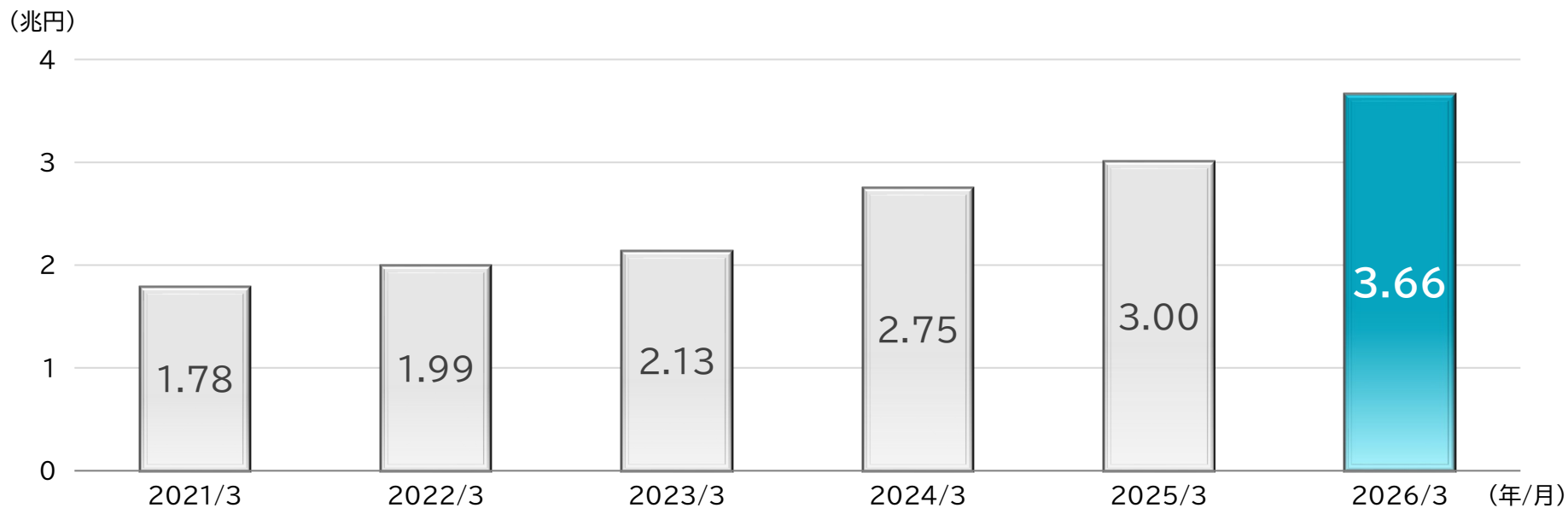
1.SMTAMの公表KPI一覧

② つみたて(長期資産形成向け商品)の残高推移(兆円)：積立投資に資する商品の提供

- 当社は、お客さまの中長期資産形成に資するファンドとして、DCファンドとつみたてファンド※の運用に力を入れています。これらのファンド残高合計は2026年3月末で3.66兆円となっています。

※DCファンド：DC専用ファンド、つみたてファンド：My SMTシリーズ。

つみたて(長期資産形成向け商品)の残高推移(兆円)



【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 ※DC専用ファンド・My SMTシリーズの残高を計上し、当社が独自に算出・集計。

1.SMTAMの公表KPI一覧

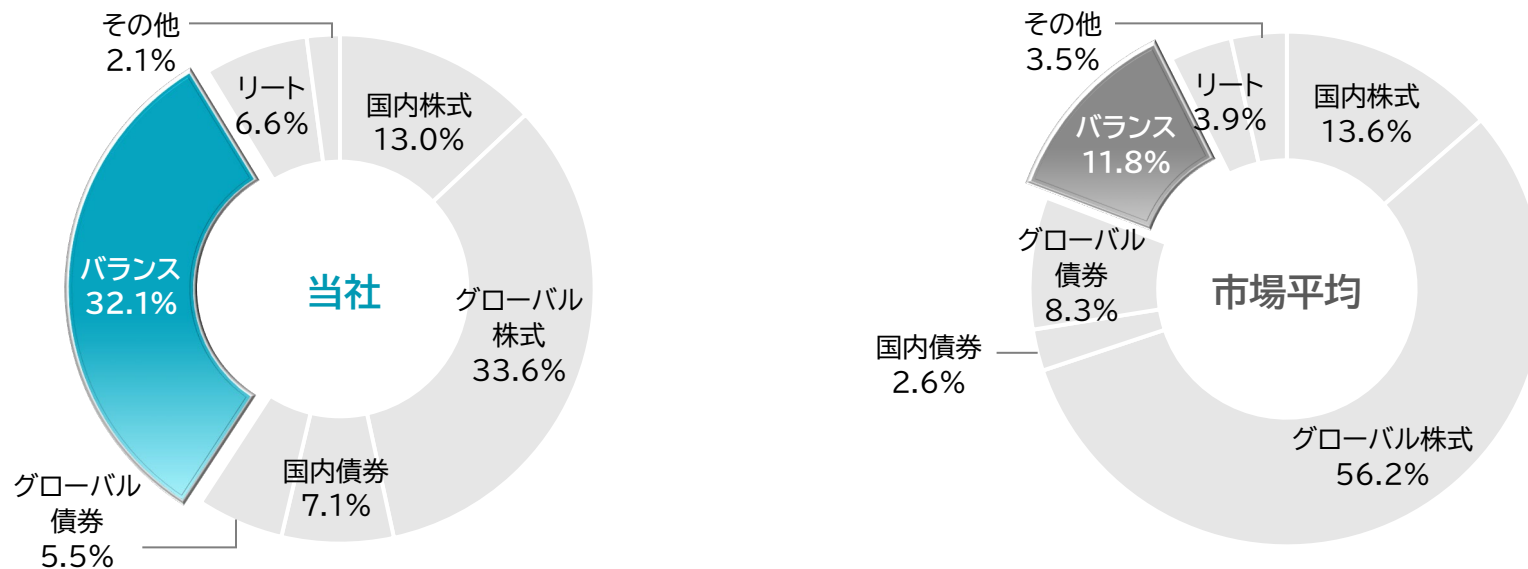
③ 商品ラインナップに占めるバランス型ファンドの比率(%)

- バランス型ファンド※は、株式や債券など異なる値動きをする資産を組み合わせる運用し、全体で安定した値動きが期待できるファンドです。当社は、このような特性を踏まえ、中長期の資産形成に資する運用商品としてバランス型ファンドの商品開発および投資効率の向上にも力を入れています。

※補足ご説明①「バランス型ファンド(バランス型投資信託)について」(32ページ)もご参照ください。

- 当社全体の商品ラインナップに占めるバランス型ファンドの比率は、2026年3月で32.1%と、市場平均の11.8%を上回っています。

商品ラインナップに占めるバランス型ファンドの比率(%)



【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 「当社」は、株式投信(追加型+単位型、除くETF)を当社にて集計。「市場平均」は、投資信託協会等のデータを基に当社が独自に算出・集計。

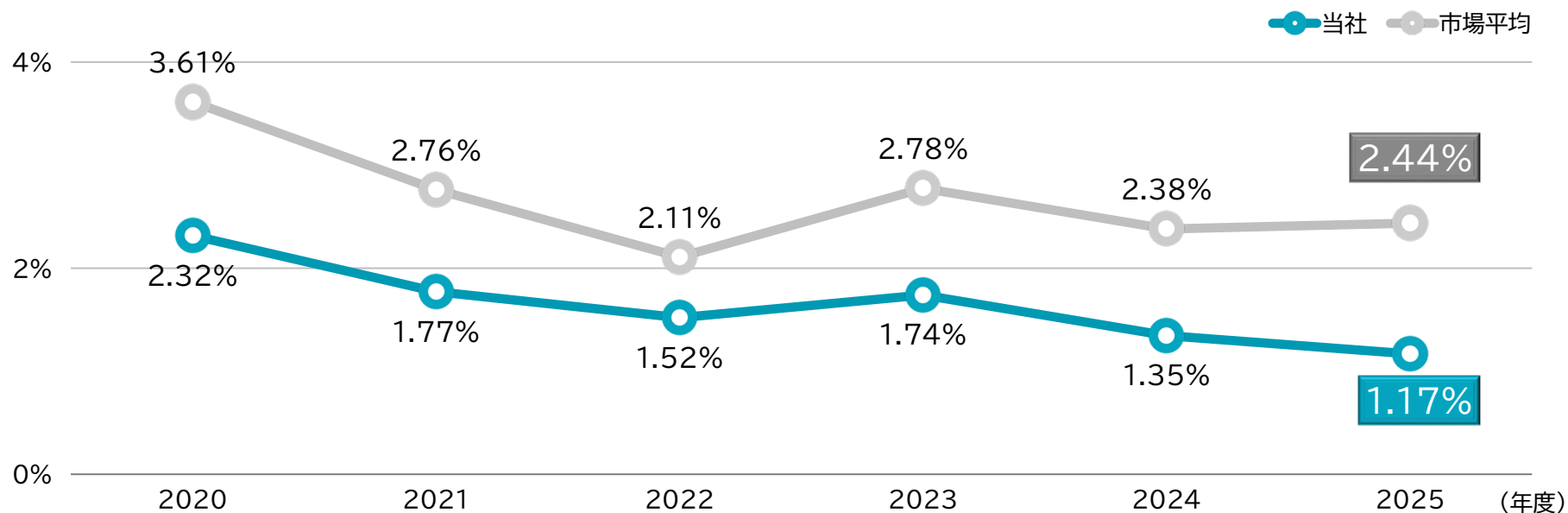
※ 端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

1.SMTAMの公表KPI一覧

④ 分配金比率(%)：資産の効率的な運用

- 当社は、運用の効率性を高めるには収益分配金水準が適正であるべきと考え、定期的に当社ファンドの収益分配金水準の見直しを行っています。引き続き、お客さまが受領する収益分配金と運用の効率性を考慮して運用を行います。
- 当社の2025年度の純資産総額に対する収益分配金の比率(分配金比率)は1.17%と引き続き低水準を維持しています。また、これまで同様、市場平均の2.44%を下回っています。

分配金比率(%)



【注】 分配金比率=分配金÷前年度末純資産総額

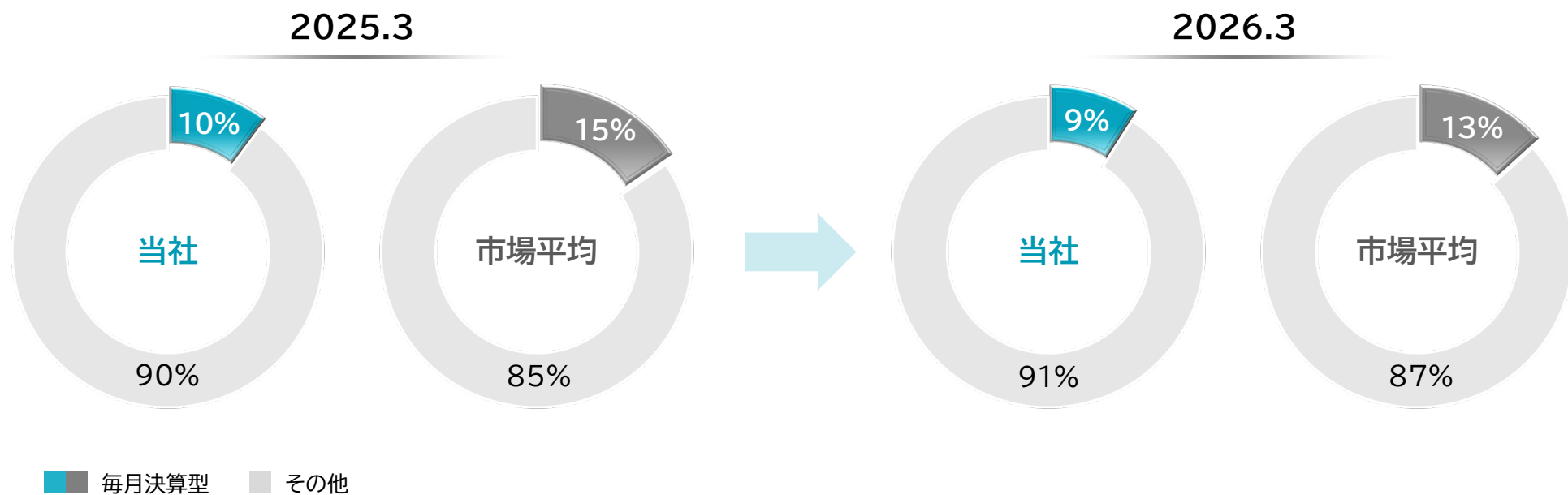
【出所】 「当社」は株式投信(追加型+単位型)を当社にて集計。「市場平均」は、投資信託協会のデータを基に当社が作成。

1.SMTAMの公表KPI一覧

⑤ 毎月決算型ファンドの純資産総額比率(%)：資産の効率的な運用

- 一般的に、分配金がファンド外部に支払われるよりも、ファンド内部に留保され再投資される方が運用の効率性が高まると言われています。当社としても、分配金がファンド外部に支払われる機会となる“決算”の回数が少ないファンドは、比較的運用効率が高いと考えています。
- 当社において、毎月決算型ファンドが当社商品全体に占める比率は、2026年3月末で9%と市場平均の13%を下回っています。

毎月決算型ファンドの純資産総額比率(%)



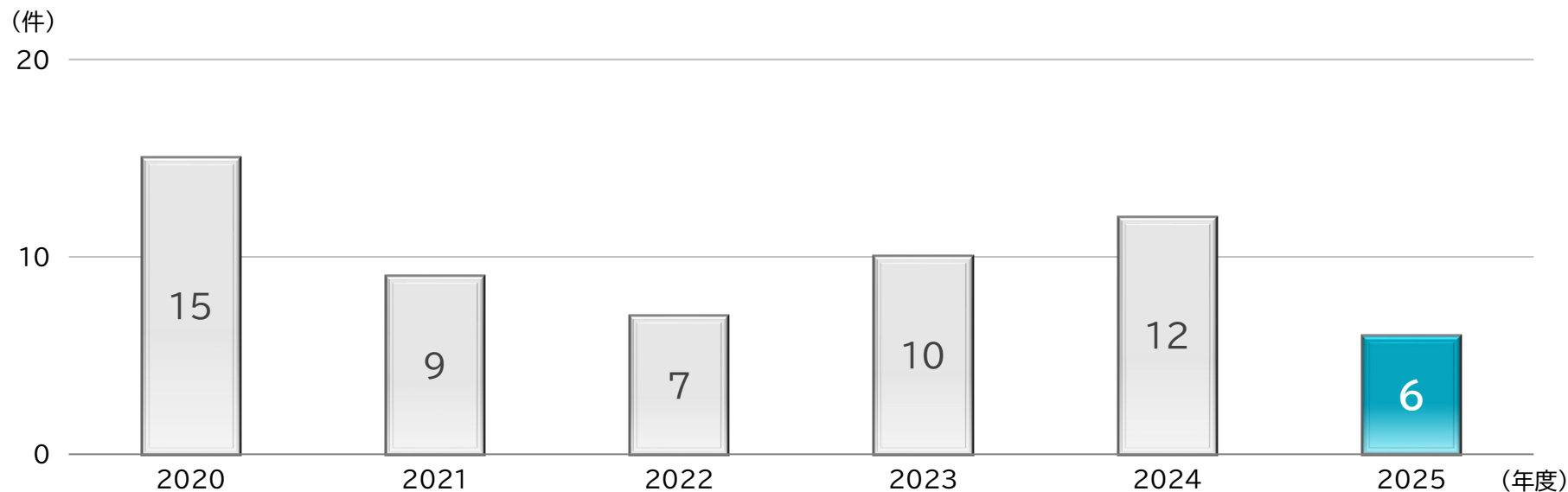
【出所】「当社」は株式投信(追加型+単位型、除くETF)を当社にて集計。「市場平均」は、投資信託協会等のデータを基に当社が独自に算出・集計。

1.SMTAMの公表KPI一覧

⑥ 公募投資信託の繰上償還件数(件)：運用上非効率なファンドを減らす取り組み

- 一般的に、小規模ファンドは運用効率が低下すると言われています。たとえば、ファンドの残高が大幅に減少すると、資金制約から十分に分散されたポートフォリオが構築できないことなどを原因として、当初の運用目的が達成しにくくなる、あるいは各種取引コストが相対的に高まるといった問題が生じます。
- 当社は、運用目的の達成が困難である、あるいは取引コストが高すぎる等の理由で運用上非効率であると判断したファンドの繰上償還を過去から積極的に進めており、2025年度に繰上償還を実施したファンドは合計で6件となりました。今後も受益者の皆さまのご意向も確認しながら対応してまいります。

公募投資信託の繰上償還件数(件)

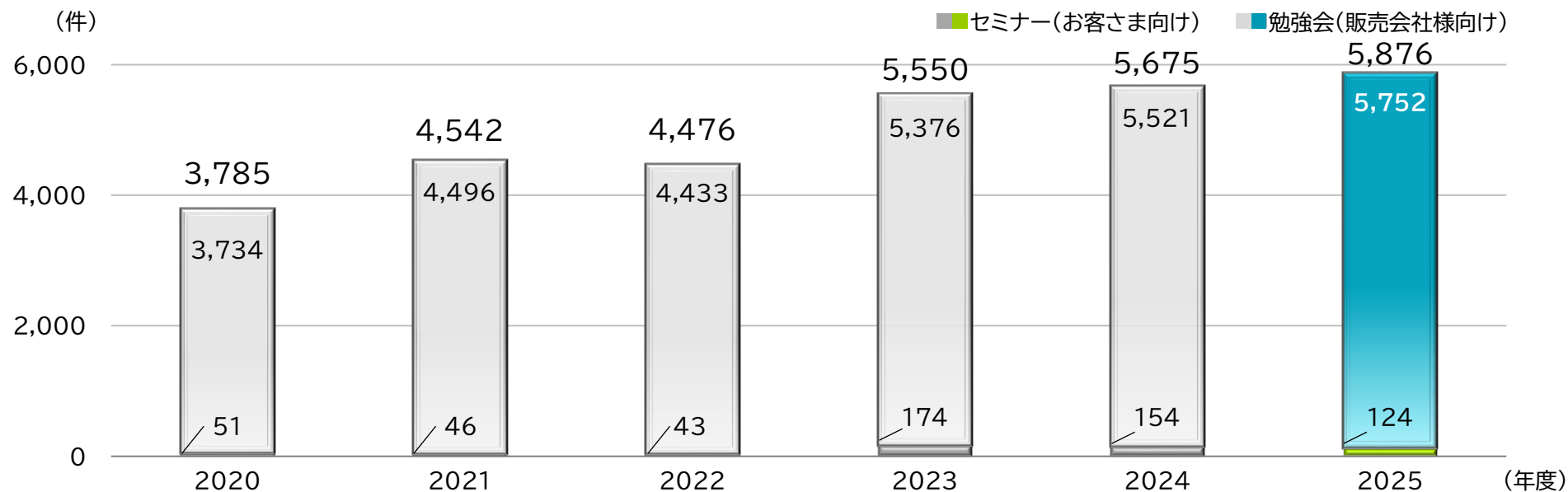


1.SMTAMの公表KPI一覧

⑦ セミナー・勉強会の開催数(件)：お客さまへの分かりやすい情報提供

- 当社は、お客さま向けセミナーや販売会社様向け勉強会を通じ、資産運用の考え方や市場見通し、また金融リテラシーなど投資判断に役立つ情報の提供を継続しています。
- 2025年度は、お客さま向けセミナー124件、販売会社様向け勉強会5,752件(合計:5,876件)を開催しました。
- LINEの公式アカウントを活用した情報提供サービス量の拡大やYouTube配信の開始など、“直接・わかりやすく”お伝えする施策で、今後もコンテンツの拡充・サポートの充実を推進します。

セミナー・勉強会の開催数(合計:件)

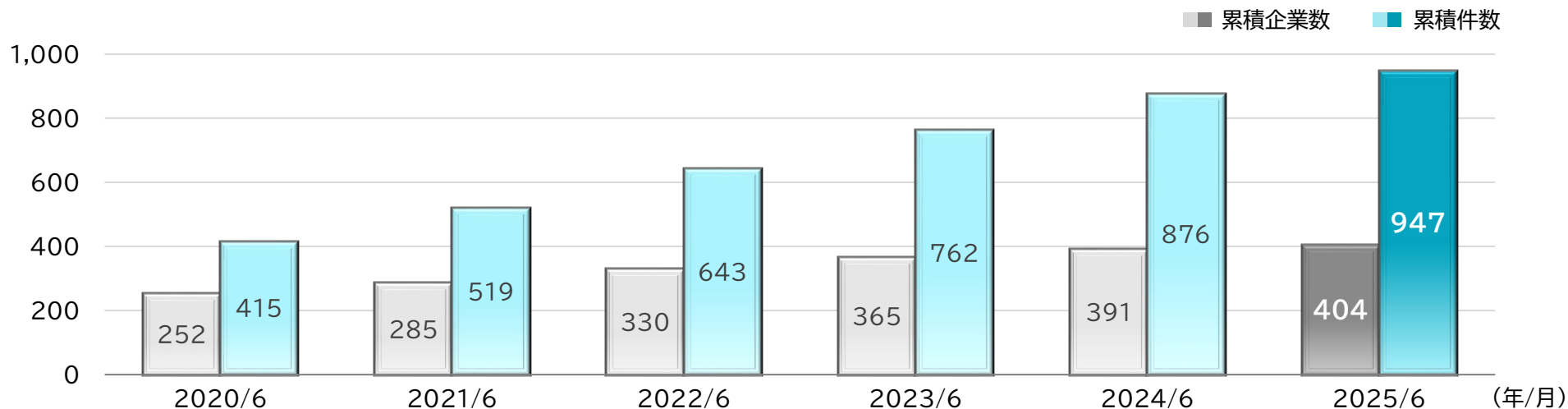


1.SMTAMの公表KPI一覧

⑧ コーポレートアクションのあった企業数と件数：責任ある投資家としてのスチュワードシップ活動

- 当社は、責任ある機関投資家として、中長期的な企業価値向上を目的としたエンゲージメント活動や議決権行使等のスチュワードシップ活動を行っています。この活動を通じて、お客さまの中長期的な投資リターンの拡大を図っています。
- 国連責任投資原則(UNPRI)や国連グローバル・コンパクト(UNGC)等の各種国際規範に署名、あるいは受入表明をしており、これらが提唱する環境・社会・ガバナンス(ESG)の観点を取り入れたスチュワードシップ活動を推進しています。
- 2025年6月末時点までの累積で、当社が表明した意見に沿ったコーポレートアクションを起こした企業数は404社、コーポレートアクションの件数は947件です。
- 当社のスチュワードシップ活動全般の詳細につきましては、年1回発行している「サステナビリティレポート」をご参照ください。

コーポレートアクションのあった企業数と件数

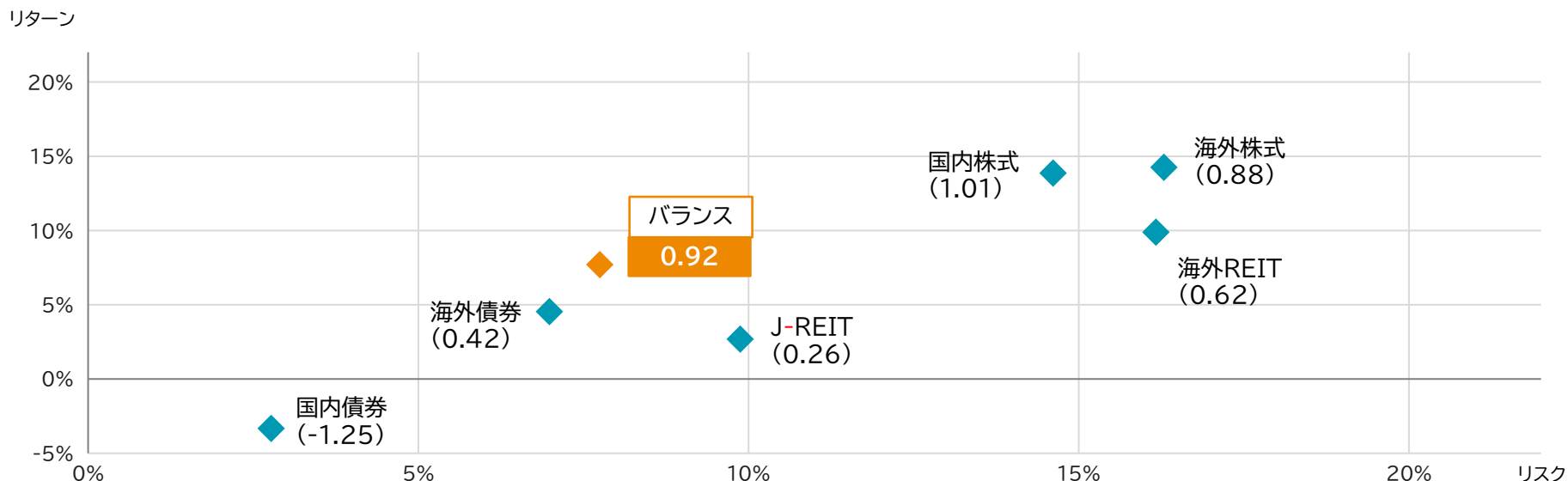


① バランス型ファンドの運用実績1：リスクとリターンの関係～投資効率の向上～

- 当社は、ファンドのリスクとリターンの関係から見る投資効率、いわゆる「シャープレシオ」※の向上に取り組んでいます。
- 5年超の運用実績を持つ当社の公募バランス型ファンドは、過去5年のシャープレシオが0.92(2026年3月末時点)となっています。なお、当社の各資産ファンドのシャープレシオは下グラフのとおりです。

※補足ご説明③「シャープレシオについて」(33ページ)もご参照ください。

当社ファンド(運用実績5年超)のシャープレシオ(過去5年)の資産別平均(実績値)の分布



※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【注】 リターン:「ファンドの収益率(基準価額ベース)」-「無リスク資産の収益率」 リスク:「ファンドの収益率(基準価額ベース)の標準偏差」

【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 (株)野村総合研究所「Fundmark(ファンドマーク)」のデータを基に当社が作成。

2.運用KPI

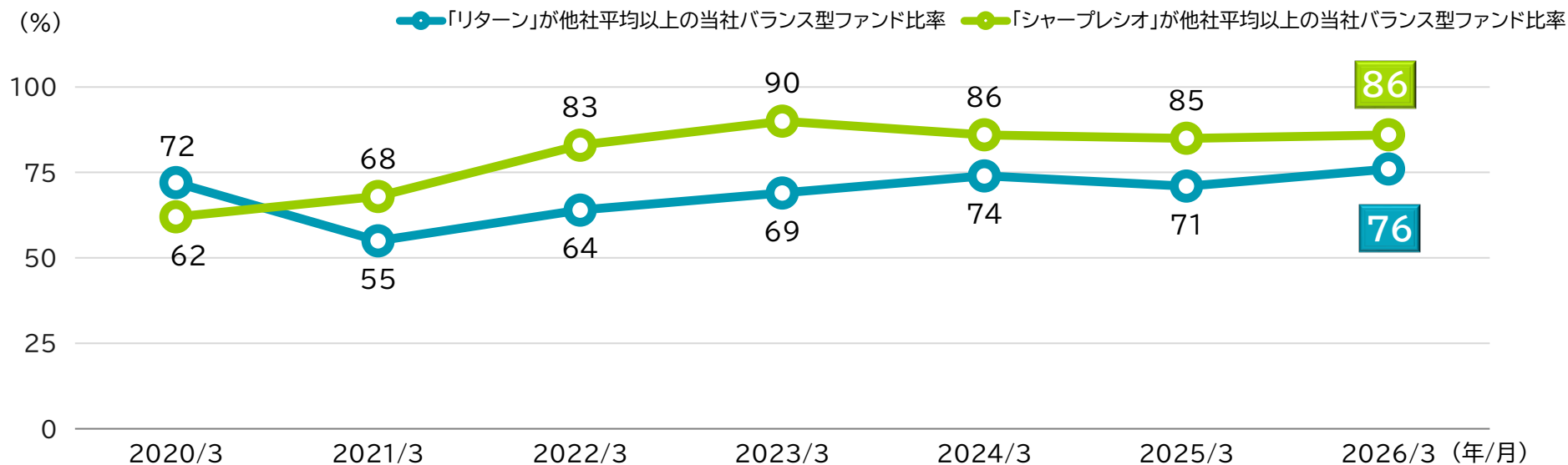
② バランス型ファンドの運用実績2：リターンおよびシャープレシオの他社ファンドとの比較

- 同種スタイルの他社ファンドと運用実績を比較することによって、当社の運用力※を測定します。同種ファンドの平均的なリターンやシャープレシオを指標として、それを上回る実績を目指します。

※補足ご説明②「バランス型ファンドの運用力の比較」(32ページ)もご参照ください。

- 当社のバランス型ファンドを他社の同種のファンドを比較すると、「リターン」においては76%のファンドが他社ファンドの平均以上のパフォーマンスを示し、「シャープレシオ」においては86%のファンドが他社ファンドの平均以上のパフォーマンスを示しています。

リターン／シャープレシオが他社平均以上の当社バランス型ファンドの本数比率(%)



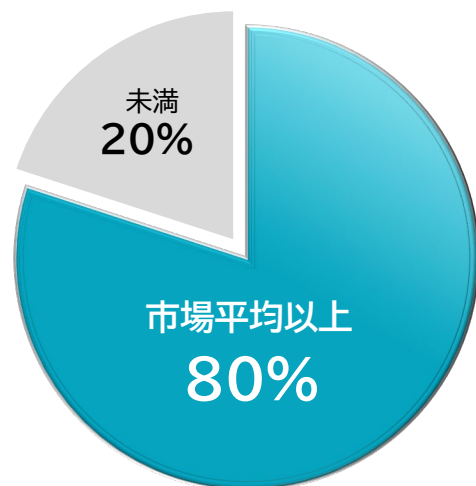
【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 (株)野村総合研究所「Fundmark(ファンドマーク)」のデータを基に当社が作成。

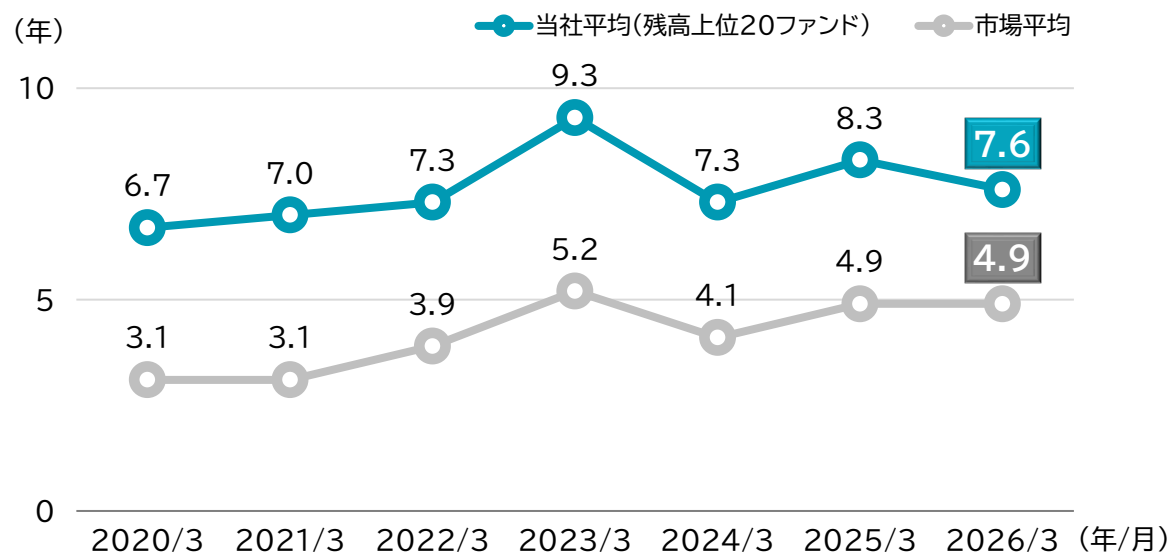
2.運用KPI

③ 残高上位20ファンドの保有期間：長期保有によりマイナスリターンが発生する確率を抑制

- 一般的に、長期運用によってマイナスリターンの発生確率が抑制されると言われています。当社は、お客さまに安心して長期保有していただけるファンドの開発に力を入れています。
- 当社の残高上位20ファンドのうち16ファンドは市場平均の保有期間を超えております。また、当社の残高上位20ファンドの平均保有期間は7.6年と市場平均の4.9年を大きく上回っています。

当社残高上位20ファンドの
保有期間が市場平均以上である割合

当社残高上位20ファンドの平均保有期間(年)



【注】 当社平均、市場平均ともに、DC(確定拠出年金)向けファンドを含む。

【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 「当社平均」は(株)野村総合研究所「Fundmark(ファンドマーク)」のデータを基に当社が作成。「市場平均」は投資信託協会のデータを基に当社が作成。

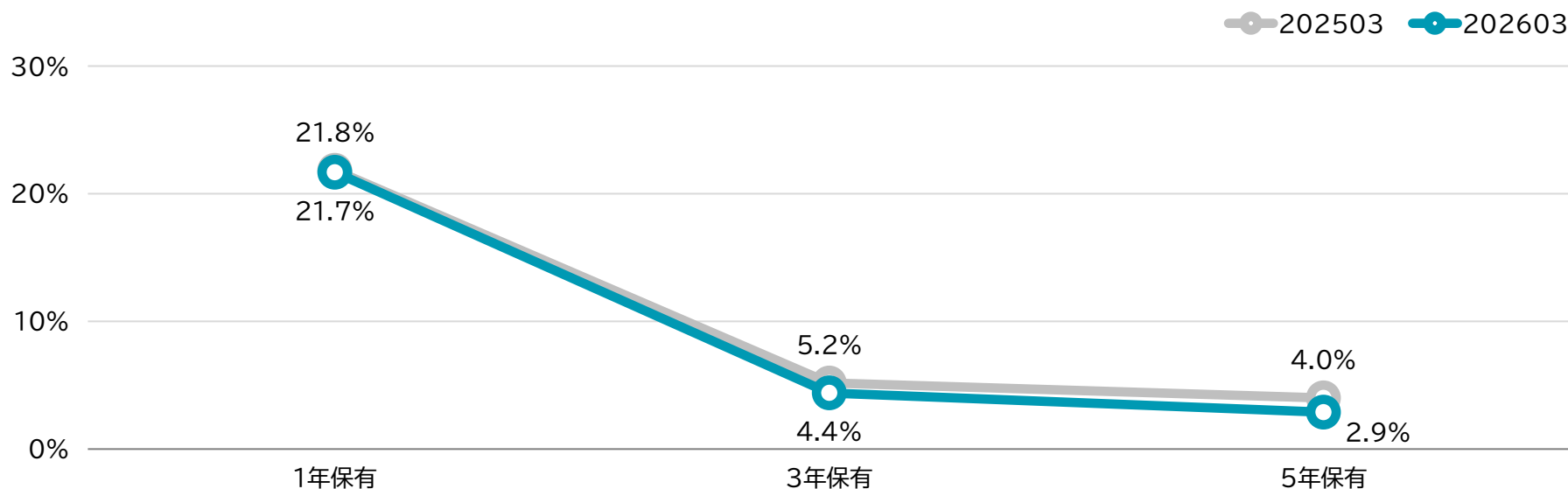
2.運用KPI

③ 残高上位20ファンドの保有期間：長期保有によりマイナスリターンが発生する確率を抑制

- 当社残高上位20ファンドのうちバランス型ファンドは8本あり、1年保有、3年保有、5年保有と、長期保有することにより、マイナスリターンの発生確率が低下しています。

※補足ご説明④「長期保有の効用」(34ページ)もご参照ください。

当社残高上位20ファンドにおけるバランス型ファンドのマイナスリターンの発生する確率(%)



※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【時点】 2026年3月末時点。

【出所】 (株)野村総合研究所「Fundmark(ファンドマーク)」のデータを基に当社が作成。

3. 補足ご説明

① バランス型ファンド(バランス型投資信託)について

- バランス型ファンドとは、一つの資産に偏ることなく、「株式」「債券」「REIT」や「日本」「先進国」「新興国」などの値動きの異なる複数の資産や地域に分散して投資するファンドのことです。一般的に、ある資産が値下がりしたとしてもほかの資産が値上がりするなどにより、ファンド全体として安定した値動きとなる点に特徴があります。
お客さまにとっては、少額から、一つのファンドで、複数の資産に分散投資することが可能となります。
- リターンの高さや値動きの大小に応じ、資産・地域毎の投資対象やその配分割合を定めた様々なバランス型ファンドが各運用会社から提供されています。バランス型ファンドは、資産毎の値動きに応じ、値上がり資産を売却し、値下がり資産を買い戻すなど、ファンド内の資産配分を調整することなどから、長期分散投資に適した商品と言えます。

② バランス型ファンドの運用力の比較

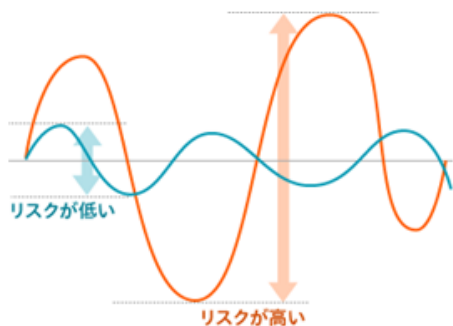
- バランス型ファンドについて、同種スタイルの他のファンドと運用実績(リターン)や商品特性(リスク・リターン)をみることによって、運用力を比較します。ただし、バランス型ファンドといっても、その組み入れ資産やアロケーション(資産配分)の違い、またアロケーション運営によって、必ずしも比較するファンドのスタイルが一致するものではありませんので、結果には留意が必要です。

3.補足ご説明

③ シャープレシオについて

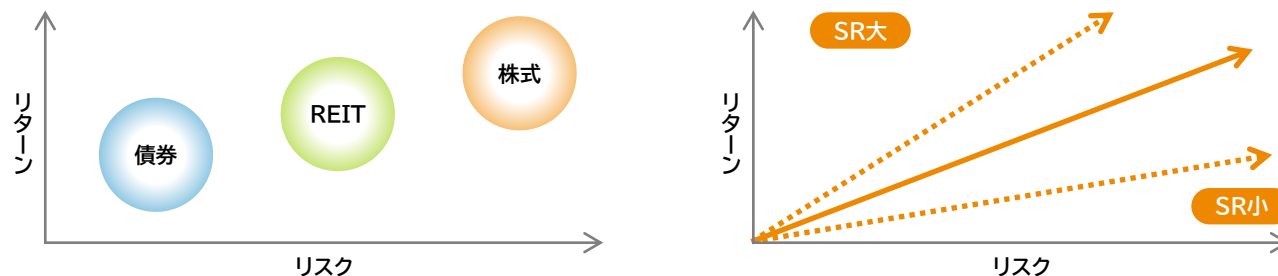
- 資産運用では、リターン(収益率)の振れ幅(標準偏差)の大きさを「リスク」と捉えます。振れ幅が大きくなれば、その分不確定要素が大きくなり、投資対象を選定する際には、リターンの大きさに加え、リスクの大きさを考慮する必要があります(図1)。
- また、リスクは、何に投資するかという投資対象によって違いがあります。一般的に、リスクが小さい資産はリターンも小さく(ローリスク・ローリターン)、リスクが大きい資産はリターンも大きい(ハイリスク・ハイリターン)傾向にあります(図2)。
- リスクとリターンに関するこのような関係から、リスクに対するリターンを測る指標が重要となります。「シャープレシオ(SR)」は、リスク1単位当たりのリターンを測るもので、この数値が大きいほど、リスクをとったことによって得られたリターンが大きいこと(=効率よく収益が得られたこと)を示します(図3)。
資産運用は、お客様それぞれが許容できるリスク水準を考慮した上で、より大きいシャープレシオを提供できる商品を選択することが重要となります。

(図1)リスクのイメージ



※ (図1)、(図2)はイメージであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(図2)資産別リスク・リターン



※リスクとリターンはトレードオフの関係にあり、一般的にリスクが高いほどリターンも高くなる。

(図3)シャープレシオ(SR)

$$\text{シャープレシオ} = \frac{\text{ポートフォリオの収益率} - \text{無リスク資産の収益率}}{\text{ポートフォリオの収益率の標準偏差}}$$

3.補足ご説明

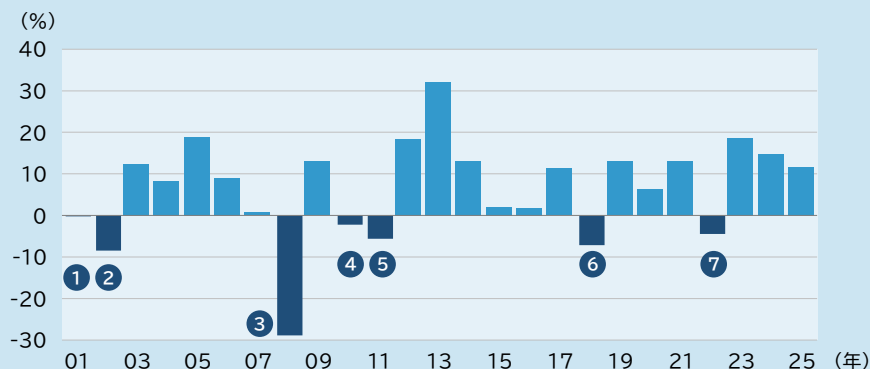
④ 長期保有の効用

- 下記の図は、国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券の4資産に均等投資(月次リバランス)したものとして算出し、各年末から1年間、5年間の累積収益率を年率換算したものです。
- 使用インデックス(円ベース)
 - ・ 国内株式 : TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
 - ・ 先進国株式 : MSCIコクサイ・インデックス(配当込み) ※米ドルベースのデータを当該日の為替データを基に当社が円換算
 - ・ 国内債券 : NOMURA-BPI総合
 - ・ 先進国債券 : FTSE世界国債インデックス(除く日本)

国内外の株式と債券に分散投資した場合の保有期間別収益率(年率)の推移

短期保有の場合

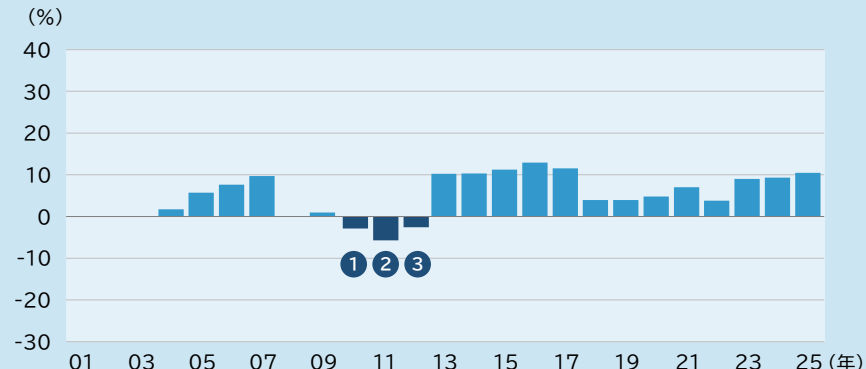
▶ 1年保有



マイナスの収益率は過去25年間で**7回**発生

長期保有の場合

▶ 5年保有



マイナスの収益率は過去25年間で**3回**発生

※上記図は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

プロダクトガバナンスに関する 取り組みについて (2026年3月末基準)



1. プロダクトガバナンス体制

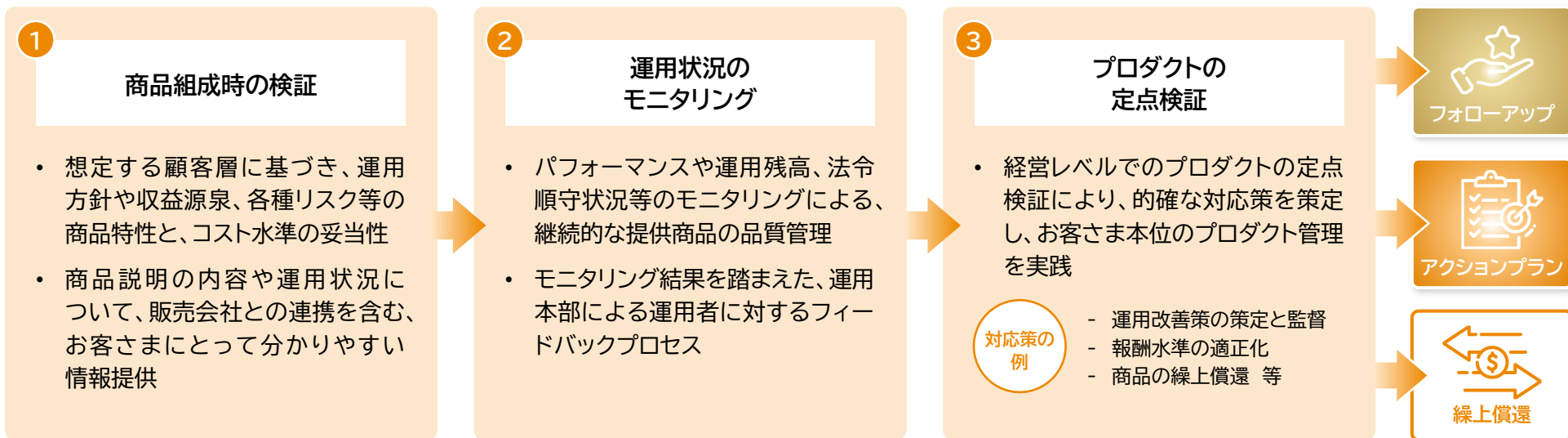
- 当社は、受託者精神のもと、お客さまの最善の利益を実現すべく、経営陣が当社の提供する商品の状況を的確に把握し、よりよい商品の提供に責任をもって関与するプロダクトガバナンス体制を構築しています。
- 具体的には、**組成(①)**・**提供(②)**・**管理(③)**の各プロセスにおける品質管理を適切に行うため、以下の観点による実効性ある検証・モニタリングプロセスを実践しています。

観点

お客さまに提供する商品が中長期に安定的なリターンを確保できているか？

組成時に想定した運用が実践され、コストに見合うリターンをお客さまへ提供できているか？

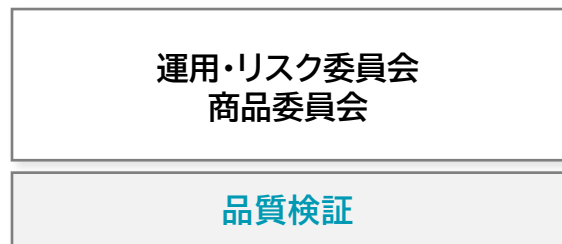
組成時に想定した運用を継続していくことが可能か？



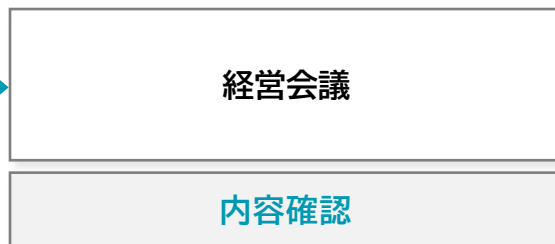
2. プロダクトの定点検証

- 公募投資信託の全商品を対象として、運用・商品の両面から定点での品質検証を行います。検証には運用・商品部署のみならず、運用監理やリスク管理、コンプライアンス等の部署が参画して牽制が機能する体制とするとともに、委員会での検証結果については経営会議において経営陣による内容の確認を行います。
- 上記の定点検証については、取締役会の諮問を受けた外部委員を主体とするフィデューシャリー・デューティ諮問委員会(FD諮問委員会)において、定点検証の適切性について確認を受け、諮問委員会からの答申と併せて取締役会の監督を受ける体制としています。

執行



- (※) 運用・リスク委員会には運用監理部が委員として参画して牽制
- (※) 商品委員会にはリスク管理部・コンプライアンス部・経営企画部が委員として参画して牽制



- (※) 定点検証における商品全般のパフォーマンス状況の確認とともに、運用本部におけるフォローアップ状況を確認
- (※) アクションプラン策定商品についてはその対応の進捗状況を確認し、必要な対応を指示



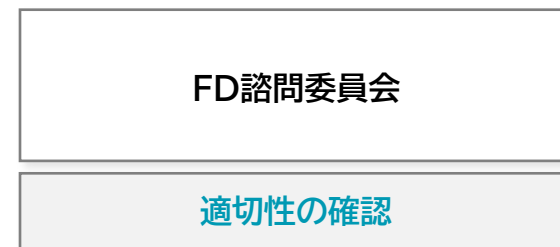
監督



(※) 取締役会は、社外取締役5名、社内取締役4名で構成

諮問

答申



(※) FD諮問委員会は、社外取締役3名、外部有識者2名、社内委員1名で構成

3. 2025年度の定点検証の状況

- 26年3月末時点の公募投信プロダクトに対する定点検証の結果、運用状況について特にフォローアップを要すると評価されたプロダクトは31商品、運用改善等のアクションプランを要すると評価されたプロダクトは4商品となりました。
- 運用関連部署のみならず、商品・経営関連部署を含め全社で的確なプロダクトガバナンスを実践することにより、今後もお客さまへより良い商品をお届けしてまいります。
- また当社は、お客さま本位の業務運営の一環として、プロダクトガバナンスに関する情報開示の拡充・高度化に取り組んでいます。
- 今年度から開示を行うフォローアップ(★★)やアクションプラン(★)対象商品は、価値提供の継続が可能と評価している商品です。そのうえで、運用状況や商品特性等を踏まえ、価値提供の実効性をより確かなものとする観点から、継続的な検証を行い、重点的なフォローアップや改善対応を行うものです。

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

2026年3月末基準の検証結果

経営レベルでの検証プロセスにより評価

公募投資信託プロダクト全体

281商品

フォローアップ

31商品

アクションプラン

4商品

繰上償還

2商品

- 市場環境の影響や一時的な変動等により、運用パフォーマンスの実績と目指す成果に、短期的な乖離が生じている状態です。
- 運用本部によるモニタリングプロセスを強化し、今後の市場見通しと投資戦略のフォローアップを行うことで、持続的なパフォーマンス発現を確認していきます。

- 運用パフォーマンスの実績と目指す成果の乖離が継続的に生じており、運用・商品の両面から改善に向けたアクションプランを定めています。
- アクションプランは、パフォーマンス改善に向けた、運用体制強化、戦略・リスク量の見直し、リスク管理強化、担当ファンドマネジャーの交代、商品仕様の見直し等を含む対応策を定め、その進捗は経営会議へ報告するとともに、取締役会の監督を受けます。
- 運用改善が見込めない等、継続的な商品提供が困難と判断した場合は、繰上償還や商品性の見直しなどの対応を行います。

4. 2025年度の商品管理の状況

- 2025年度は8商品について、運用パフォーマンスに基づくアクションプランや運用残高等を踏まえた対応を完了いたしました。
- 定点検証のみならず、広くプロダクトガバナンスの観点から、当社の商品について適宜見直しを実施しています。

定点検証などに基づく対応を完了した商品

パフォーマンス改善

- ・ インバウンド関連日本株ファンド

商品性の見直し

約款変更: 運用効率の観点から、受益者の利益を踏まえ投資対象の見直し(入れ替え)によるもの

- ・ 10資産分散投資ファンド

繰上償還

- ・ CBオープン
- ・ ARTテクニカル運用日本株式ファンド
- ・ SMT 日経アジア300インバスタブルインデックス・オープン
- ・ SMT 米国REITインデックス・オープン
- ・ JPX日経インデックス400・オープン
- ・ バンクローン・オープン(円コース)(SMA専用)

分かりやすい情報提供のための対応を予定している商品

情報開示の改善

目論見書の記載見直し: 投資家の皆さまに費用の内容をより分かりやすくご理解いただくため、「ファンドの費用」欄の記載内容を見直すもの

- ・ コア投資戦略ファンド(安定型)
- ・ コア投資戦略ファンド(成長型)
- ・ コア投資戦略ファンド(積極成長型)
- ・ コア投資戦略ファンド(切替型)
- ・ コア投資戦略ファンド(切替型ワイド)
- ・ 分散投資コア戦略ファンドA
- ・ 分散投資コア戦略ファンドS
- ・ ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)
- ・ サテライト投資戦略ファンド(株式型)
- ・ コモディティ・オープン(SMA専用)
- ・ SMTAMコモディティ・オープン
- ・ 米国株式デイリートレンド戦略ファンド
- ・ MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)

5. 情報提供について

- 当社ホームページ上で公表している運用部の概要において、運用責任者の氏名、役職と運用経験年数の開示を行っております。
- 「運用各部・関係部の紹介」では、運用部門各部における責任者や主な投資信託/ETFをご紹介するなど、開示の拡充を進めております。

運用各部・関係部の紹介の一例

アクティブ運用部 株式・リート運用ユニット

2026年4月30日現在

株式・リート運用ユニットでは、国内外の株式とリートのアクティブ運用を担当しています。世界各国の株価動向を予測し、ベンチマーク(目標となる指数)を上回る成績を目指すファンドや、どのような相場でもプラスリターンを獲得を目指すファンドを多数運用しています。また、不動産市場への深い知見を活かしたリートの運用も行っております。市場の注目テーマや、企業の成長性の分析に基づく成長銘柄への投資や、市場で過小評価されている銘柄、相対的に情報が取得しにくい中小型の有望株への投資など、多様な着眼点での運用を行っています。

責任者紹介

ユニット長	有馬 純一 1996年当グループ信託銀行に入社し、2018年当社入社。2002年よりポートフォリオマネジャー、株式クオンツアクティブ運用・クオンツアナリスト業務を経験。運用経験年数24年
メンバー構成	ファンドマネジャー40名・平均運用経験年数17年 別途リサーチ運用部に所属するアナリストとは密に協働
運用資産残高	約3.1兆円*

*投資一任・投資信託・投資助言合算

リサーチ運用部

2026年4月30日現在

リサーチ運用部では、ファンドマネジャーの銘柄選択を始めた運用判断の成果を最大化するために、投資候補先企業などの選定に資する分析を行っています。当社は本邦最大級のアナリスト陣容を誇り、企業リサーチアナリストは公開情報の分析だけでなく企業への取材を積極的に行い、幅広い業種・企業の成長性や経営戦略、財務状況などを分析・評価しています。そうした企業との関係性は、当社が重視するステュワードシップ活動にも活かされています。また、高度な数学的手法やモデルを駆使して市場分析を行うクオンツアナリストは、ファンドマネジャーと協働して運用戦略を開発するだけでなく、新たなコンセプトのファンド立ち上げも推進しています。新技術の導入にも積極的に取り組んでおり、優れた収益源泉の発掘に絶え間なく取り組んでいます。

責任者紹介

部長	小林 拓史 1998年当グループ信託銀行に入社し、2018年当社入社。2004年よりクオンツアナリストとして、株式クオンツアクティブ運用に従事。運用経験年数21年
メンバー構成	アナリスト等39名、平均運用経験年数11年
リンク	主なアナリスト活動 Future Insight データサイエンス×資産運用 三井住友トラスト・アセットマネジメント 東証マネ部! 主なアナリスト協働でのプロダクト開発 SMT MIRAI Index シリーズ SMT iPlus シリーズ

5. 情報提供について

- 当社の運用体制についてわかりやすくお伝えする特設ページを作成し、当社ホームページ上に公開しています。
- 当社の強みである徹底的かつ最先端のリサーチやチーム運用など運用体制の特徴について、「Future Insights」をキーワードに、連続的に付加価値を生み出すためのリサーチ基盤と運用のコラボレーションをご紹介します。
- 実際に当社の運用部門に所属する社員を被写体としており、お客さまに提供している商品を実際に運用している「ヒト」や「息遣い」を感じていただける内容としております。

- 2025年度から交付目論見書の冒頭に、投資家様宛のメッセージ掲載を開始いたしました。当該ページでは、ファンドの特徴や商品設定に込めた想いをお伝えしております。

投資家様向けメッセージの一例

SMT 日本株式モメンタムファンド 《愛称：トレンドランキング・日本株》

SMTAMの運用・リサーチ体制 | Future Insights



～株価の勢い・トレンドを、あなたの資産形成に～

SMT 日本株式モメンタムファンド
（愛称：トレンドランキング・日本株）

株式市場には、その時々で「勢い」のある銘柄が存在します。「勢い」の背景には、企業の成長への期待や、投資家が注目する投資テーマなどがあり、勢いが長く続くこともあれば、短期間で終わってしまうこともあります。この株価の勢いや方向性を「モメンタム」といいます。

本ファンドは、この「モメンタム」に着目し、日本の株式市場において、短期（6ヶ月）・中期（12ヶ月）・長期（36ヶ月）の3つの期間で株価のモメンタムを分析。各期間でモメンタムが強い、勢いのある銘柄に投資し、高いリターンを獲得とリスクの分散の両立を目指します。

また、本ファンドは、原則として3ヶ月ごとに組入銘柄の見直しを行います。勢いを失った銘柄を保有し続けることなく、その時々で勢いのある銘柄に投資し、株価の「トレンド」を捉えられる設計となっており、中長期的な資産形成にも活用いただきやすいファンドとなっています。

皆さまの資産運用の新たな選択肢の一つとして、本ファンドを検討してみてくださいはいかがでしょうか。

～ 三井住友トラスト・アセットマネジメント 企業理念 Vision ～

未来の可能性を拓き、真に“豊かな”社会を育む。

私たちは、お客様一人ひとりと歩みをともにし、同じ夢を追い求めながら、
未来に託す思いにこたえる資産運用の新しいカタチを追求していきます。

2025年12月

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

資産複合

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
1. 3資産バランスオープン		★★★	—	21. DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2060		★★★	—
2. 3資産バランスオープンアルファ		★★★	—	22. DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2070		★★★	—
3. 10資産分散投資ファンド (個別ページのご用意はありません)		★★★	—	23. DCバランスファンド30		★★★	—
4. DCターゲット・イヤー ファンド2025		★★★	—	24. DCバランスファンド50		★★★	—
5. DCターゲット・イヤー ファンド2035		★★★	—	25. DCバランスファンド70		★★★	—
6. DCターゲット・イヤー ファンド2045		★★★	—	26. DCマイセクション25		★★★	—
7. DCターゲット・イヤー ファンド2055		★★★	—	27. DCマイセクション50		★★★	—
8. DCターゲット・イヤー ファンド2065		★★★	—	28. DCマイセクション75		★★★	—
9. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2035		★★★	—	29. DCマイセクションS25		★★★	—
10. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2040		★★★	—	30. DCマイセクションS50		★★★	—
11. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2045		★★★	—	31. DCマイセクションS50(2024-2026リスク抑制型)		★★★	—
12. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2050		★★★	—	32. DCマイセクションS75		★★★	—
13. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2055		★★★	—	33. DC世界経済インデックスファンド		★★★	—
14. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2060		★★★	—	34. DC世界経済インデックスファンド(株式シフト型)		★★★	—
15. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2065		★★★	—	35. DC世界経済インデックスファンド(株式特化型)		★★★	—
16. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2070		★★★	—	36. DC世界経済インデックスファンド(債券シフト型)		★★★	—
17. DCターゲット・イヤーファンド(ライフステージ対応型)2075		★★★	—	37. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジあり(奇数月決算型)		★★★	—
18. DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2030		★★★	—	38. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)		★★★	—
19. DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2040		★★★	—	39. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジあり(毎月決算型)		★★★	—
20. DCターゲット・イヤーファンド(6資産・運用継続型)2050		★★★	—	40. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジなし(奇数月決算型)		★★★	—

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

資産複合				アクションプラン	資産複合				アクションプラン
ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	アクションプラン	
41. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)		★★★	—	61. グローバルETF・インカム・バランスファンド(年1回決算型)		★★★	—		
42. NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)		★★★	—	62. グローバルETF・インカム・バランスファンド(年2回決算型)		★★★	—		
43. SBI資産設計オープン(つみたてNISA対応型)		★★★	—	63. グローバル経済コア		★★★	—		
44. SBI資産設計オープン(資産成長型)		★★★	—	64. コア投資戦略ファンド(安定型)		★★★	—		
45. SBI資産設計オープン(分配型)		★★★	—	65. コア投資戦略ファンド(成長型)		★★★	—		
46. SMT 8資産インデックスバランス・オープン		★★★	—	66. コア投資戦略ファンド(積極成長型)		★★★	—		
47. SMT MIRAIndex 総合		★★★	—	67. コア投資戦略ファンド(切替型)		★★★	—		
48. SMT インデックスバランス・オープン		★★★	—	68. コア投資戦略ファンド(切替型ワイド)		★★★	—		
49. SMT 世界経済インデックス・オープン		★★★	—	69. 国内株式SMTBセレクション(SMA専用)		★★★	—		
50. SMT 世界経済インデックス・オープン(株式シフト型)		★★★	—	70. 債券コア・セレクション		★★★	—		
51. SMT 世界経済インデックス・オープン(債券シフト型)		★★★	—	71. 債券コア戦略ファンド		★★★	—		
52. インデックスコレクション(バランス株式30)		★★★	—	72. 財産四分法ファンド(毎月決算型)		★★★	—		
53. インデックスコレクション(バランス株式50)		★★★	—	73. サテライト投資戦略ファンド(株式型)		★★★	—		
54. インデックスコレクション(バランス株式70)		★★★	—	74. 世界ダブルハイインカム(奇数月決算型)		★★★	—		
55. 外国株式SMTBセレクション(SMA専用)		★★	—	75. 世界経済インデックスファンド		★★★	—		
56. 外国債券SMTBセレクション(SMA専用)		★★	—	76. 世界経済インデックスファンド(株式シフト型)		★★★	—		
57. グローバル・インカム&プラス(毎月決算型)		★★★	—	77. 世界経済インデックスファンド(債券シフト型)		★★★	—		
58. グローバル・インデックス・バランス・ファンド		★★★	—	78. ソシエテ・ジェネラル社債/国際分散投資戦略ファンド2023—09		★★★	—		
59. グローバル10資産バランスファンド		★★★	—	79. 日本株&Jリート 好配当フォーカスファンド		★★★	—		
60. グローバル3資産バランスオープン		★★	—	80. 分散投資コア戦略ファンドA		★★★	—		

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

資産複合

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
81. 分散投資コア戦略ファンドS		★★★★	—	85. リアルアセット関連証券ファンド(年2回決算型)		繰上償還	P.52
82. 米ドル建シティグループ社債/国際分散投資戦略ファンド2023-11		★★★★	—	86. リアルアセット関連証券ファンド(毎月決算型)		繰上償還	P.52
83. ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)		★★	—	87. ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)		★★★★	—
84. 毎月分配パッケージファンド		★★★★	—				

国内株式

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
88. DCグッドカンパニー(社会的責任投資)		★	P.50	101. SMT ETFカーボン・エフィシエント日本株		★★★★	—
89. DCファンダメンタル・バリュー ファンド		★★★★	—	102. SMT ETF日本株厳選投資アクティブ		★★★★	—
90. DCリサーチ・グロース ファンド		★	P.51	103. SMT ETF日本好配当株アクティブ		★★★★	—
91. DC日産株ファンド (個別ページのご用意はありません)		★★★★	—	104. SMT JPX日経インデックス400・オープン		★★★★	—
92. DC日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスファンド		★★★★	—	105. SMT TOPIXインデックス・オープン		★★★★	—
93. DC日本株式インデックス・オープン		★★★★	—	106. SMT 日経225インデックス・オープン		★★★★	—
94. DC日本株式インデックス・オープンス		★★★★	—	107. SMT 日本株株モメンタムファンド		★★★★	—
95. DC日本株式インデックスファンド		★★★★	—	108. SMT 日本株配当貴族インデックス・オープン		★★★★	—
96. DC日本株式インデックスファンドA		★★★★	—	109. SRI・ジャパン・オープン		★	P.50
97. DC日本株式インデックスファンドL		★★★★	—	110. インデックスコレクション(国内株式)		★★★★	—
98. DC日本株式エクセレント・フォーカス		★★★★	—	111. インデックスコレクション(日経225)		★★★★	—
99. My SMT TOPIXインデックス(ノーロード)		★★★★	—	112. インバウンド関連日本株ファンド		★★	—
100. My SMT 日経225インデックス(ノーロード)		★★★★	—	113. キャッシュフロー経営評価オープン		★★★★	—

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

国内株式

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
114. 次世代ファンド		★★	—
115. ジャパン・グロース・ファンド		★★	—
116. 中小型株式オープン		★★	—
117. 日経225インデックスe		★★★	—
118. 日経225インデックスファンド		★★★	—
119. 日本インフラ投信ファンド		★★	—
120. 日本株式SRIファンド		★	P.50
121. 日本株式インデックス・オープン		★★★	—

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
122. 日本株式インデックス・オープン(SMA専用)		★★★	—
123. 日本株式インデックスe		★★★	—
124. 日本株式インデックスファンド		★★★	—
125. 日本株式エクセレント・フォーカスファンド		★★★	—
126. 日本株配当オープン		★★★	—
127. ニュー配当利回り株オープン		★★★	—
128. 半導体関連 日本株式戦略ファンド		★★★	—

海外株式

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
129. DC外国株式ESGリーダーズインデックスファンド		★★★	—
130. DC外国株式インデックス・オープン		★★★	—
131. DC外国株式インデックスファンド		★★★	—
132. DC外国株式インデックスファンドL		★★★	—
133. DC次世代通信関連 世界株式戦略ファンド		★★★	—
134. DC新興国株式インデックス・オープン		★★★	—
135. DC全世界株式インデックスファンド(オール・カントリー)		★★★	—
136. DC脱炭素関連 世界株式戦略ファンド		★★	—
137. DC米国株式インデックス・オープン(S&P500)		★★★	—

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
138. My SMT S&P500インデックス(ノーロード)		★★★	—
139. My SMT グローバル株式インデックス(ノーロード)		★★★	—
140. My SMT ダウ・ジョーンズ・インデックス(ノーロード)		★★★	—
141. My SMT ラッセル1000米国株式インデックス(ノーロード)		★★★	—
142. My SMT 新興国株式インデックス(ノーロード)		★★★	—
143. My SMT ラッセル2000米国中小型株式インデックス(ノーロード)		★★★	—
144. My SMT ラッセル3000全米株式インデックス(ノーロード)		★★★	—
145. SMT iPlus 全世界株式		★★★	—
146. SMT iPlus 米国株式		★★	—

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

海外株式				アクションプラン					アクションプラン
ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ		
147. SMT MIRAIndex eビジネス		★★★	—	167. SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド		★★★	—		
148. SMT MIRAIndex エコ		★★★	—	168. SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド(為替ヘッジあり)		★★★	—		
149. SMT MIRAIndex バイオ・メディカル		★★★	—	169. アジア・オセアニア配当利回り株オープン		★★★	—		
150. SMT MIRAIndex ロボ		★★★	—	170. イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型・奇数月決算型)		★★	—		
151. SMT MIRAIndex 宇宙		★★★	—	171. イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(資産成長型)		★★	—		
152. SMT アジア新興国株式インデックス・オープン		★★★	—	172. イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)		★★	—		
153. SMT グローバルサウス株式インデックス・オープン		★★★	—	173. インデックスコレクション(外国株式)		★★★	—		
154. SMT グローバル株式インデックス・オープン		★★★	—	174. インド中小型成長株式ファンド		★★★	—		
155. SMT ダウ・ジョーンズ インデックス・オープン		★★★	—	175. エキサイティング・コンテンツ関連 世界株式戦略ファンド		★★★	—		
156. SMT 欧州株式モメンタムファンド		★★★	—	176. エマージング株式オープン		★★	—		
157. SMT 欧州株配当貴族インデックス・オープン		★★★	—	177. 欧州成長株式ファンド		★★	—		
158. SMT 新興国株式インデックス・オープン		★★★	—	178. 外国株式インデックス・オープン		★★★	—		
159. SMT 中国株式モメンタムファンド		★★★	—	179. 外国株式インデックス・オープン(SMA専用)		★★★	—		
160. SMT 米国株式モメンタムファンド		★★★	—	180. 外国株式インデックスe		★★★	—		
161. SMT 米国株配当貴族インデックス・オープン		★★★	—	181. 外国株式インデックスファンド		★★★	—		
162. SMT 米国高配当&自社株買いファンド(年4回決算型)		★★★	—	182. 次世代通信関連 アジア株式戦略ファンド		★★★	—		
163. SMTAM NYダウインデックスオープン		★★★	—	183. 次世代通信関連 世界株式戦略ファンド		★★★	—		
164. SMTAM NYダウインデックスオープン(為替ヘッジあり)		★★★	—	184. 次世代通信関連 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)		★★★	—		
165. SMTAM S&P500戦略ファンド(株価水準レバレッジ比率調整型)		★★★	—	185. 新興国株式インデックス・オープン(SMA専用)		★★★	—		
166. SMTAMインド株式インデックス・オープン		★★★	—	186. スマート・コントロール 世界株式戦略ファンド		★★★	—		

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

海外株式

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
187. 世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド(アジア通貨コース)		★★★★	—	195. チャイナ・グッドカンパニー		★★★★	—
188. 世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド(ブラジル・リアルコース)		★★★★	—	196. チャイナ・リサーチ・オープン		★★	—
189. 世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド(円コース)		★★	—	197. 半導体関連 世界株式戦略ファンド		★★★★	—
190. 世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド(豪ドルコース)		★★★★	—	198. ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)		★★	—
191. 世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド(米ドルコース)		★★	—	199. ブランドス欧州株ファンド		★★★★	—
192. 世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド		★★	—	200. 米国株式デイトリート戦略ファンド		★★★★	—
193. 脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(資産成長型)		★★	—	201. 米国成長株式ファンド		★★	—
194. 脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)		★★	—	202. 米国大型テクノロジー株式ファンド		★★★★	—

国内債券

ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	アクションプラン ページ
203. DC日本債券インデックス・オープン		★★★★	—	209. SMT 国内債券インデックス・オープン		★★★★	—
204. DC日本債券インデックス・オープンP		★★★★	—	210. インデックスコレクション(国内債券)		★★★★	—
205. DC日本債券インデックス・オープンS		★★★★	—	211. 国内債券SMTBセレクション(SMA専用)		★★★★	—
206. DC日本債券インデックスファンド		★★★★	—	212. 日本債券インデックスe		★★★★	—
207. DC日本債券インデックスファンドL		★★★★	—	213. 日本債券インデックスファンド		★★★★	—
208. My SMT 国内債券インデックス(ノーロード)		★★★★	—				

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

海外債券				アクションプラン					アクションプラン
ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ		
214. DC外国債券インデックス・オープン		★★★	—	234. オーストラリア公社債ファンド		★★★	—		
215. DC外国債券インデックスファンド		★★★	—	235. オーストラリア公社債ファンド(奇数月決算型)		★★★	—		
216. DC外国債券インデックスファンドL		★★★	—	236. 外国債券インデックス・オープン(SMA専用)		★★★	—		
217. DC新興国債券インデックス・オープン		★★★	—	237. 外国債券インデックスe		★★★	—		
218. My SMT グローバル債券インデックス(ノーロード)		★★★	—	238. 外国債券インデックスファンド		★★★	—		
219. My SMT 新興国債券インデックス(ノーロード)		★★★	—	239. 外国債券オープン(毎月決算型)		★★★	—		
220. PIMCO 世界不動産関連債券ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)		★★★	—	240. 高金利ソブリンオープン		★★★	—		
221. PIMCO 世界不動産関連債券ファンド(為替ヘッジあり)(毎月決算型)		★★★	—	241. 債券総合型ファンド(為替ヘッジあり)		★★★	—		
222. PIMCO 世界不動産関連債券ファンド(為替ヘッジなし)(年2回決算型)		★★★	—	242. 債券総合型ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)		★★★	—		
223. PIMCO 世界不動産関連債券ファンド(為替ヘッジなし)(毎月決算型)		★★★	—	243. 債券総合型ファンド(為替ヘッジなし)		★★★	—		
224. PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(ブラジル・レアルコース)		★★★	—	244. 債券総合型ファンド(為替ヘッジなし)(年2回決算型)		★★★	—		
225. PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(円コース)		★★★	—	245. 新興国債券インデックス・オープン(SMA専用)		★★★	—		
226. PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(豪ドルコース)		★★★	—	246. 米国地方債ファンド 為替ヘッジあり(奇数月決算型)		★★	—		
227. PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(米ドルコース)		★★★	—	247. 米国地方債ファンド 為替ヘッジあり(年2回決算型)		★★	—		
228. SMT グローバル債券インデックス・オープン		★★★	—	248. 米国地方債ファンド 為替ヘッジあり(毎月決算型)		★★	—		
229. SMT 新興国債券インデックス・オープン		★★★	—	249. 米国地方債ファンド 為替ヘッジなし(奇数月決算型)		★★	—		
230. SMTAMヘッジ付き外国債・スマートベータ・ファンド(野村SMA・EW向け)		★★★	—	250. 米国地方債ファンド 為替ヘッジなし(年2回決算型)		★★	—		
231. SMTグローバル債券インデックス・オープン(為替ヘッジあり)		★★★	—	251. 米国地方債ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)		★★	—		
232. インデックスコレクション(外国債券)		★★★	—	252. 未来フォーカス企業債ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)		★★★	—		
233. インドネシア・ソブリン・ファンド(毎月決算型)		★★★	—	253. ヨーロッパ国債ファンド(毎月決算型)		★★★	—		

6.ファンドレビュー



判定結果

★★★★ … 問題なし

★★ … 改善を検討すべき点が認められる

フォローアップ

★ … 改善すべき点が認められる

アクションプラン

他 … 継続的な商品提供が困難

繰上償還

リート				アクションプラン					アクションプラン
ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ		ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	
254. J-REIT・リサーチ・オープン(奇数月決算型)		★★★★	—		263. SMT J-REITインデックス・オープン		★★★★	—	
255. J-REIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)		★★★★	—		264. SMT グローバルREITインデックス・オープン		★★★★	—	
256. J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)		★★★★	—		265. SMT 新興国REITインデックス・オープン		★★★★	—	
257. Jリートアクティブファンド(1年決算型)		★★★★	—		266. アジアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)		★★★★	—	
258. Jリートインデックス・オープン(SMA専用)		★★★★	—		267. アジアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)		★★★★	—	
259. Jリートファンド		★★★★	—		268. オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)		★★★★	—	
260. My SMT J-REITインデックス(ノーロード)		★★★★	—		269. オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)		★★★★	—	
261. My SMT グローバルREITインデックス(ノーロード)		★★★★	—		270. グローバルリートインデックス・オープン(SMA専用)		★★★★	—	
262. SMT ETF国内リート厳選投資アクティブ		★★★★	—						

その他				アクションプラン					アクションプラン
ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ		ファンド名	ホームページリンク	判定	ページ	
271. GBCAファンド(SMA専用)		★★★★	—		277. SMTAMコモディティ・オープン		★★★★	—	
272. MAN AHL Diversified リンクファンド(SMA専用)		★★★★	—		278. コモディティ・オープン(SMA専用)		★★★★	—	
273. MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)		★★★★	—		279. バンクローン・オープン(為替ヘッジあり)		★★★★	—	
274. MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)		★★	—		280. バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)		★★	—	
275. SMT ゴールドインデックス・オープン(為替ヘッジあり)		★★★★	—		281. バンクローン・オープン(米ドルコース)(SMA専用)		★★★★	—	
276. SMT ゴールドインデックス・オープン(為替ヘッジなし)		★★★★	—						

7. アクションプラン

SRI・ジャパン・オープン

愛称：グッドカンパニー

CLICK

商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	62.53億円 (2026年3月末時点)
国内	株式	

日本株式SRIファンド

CLICK

商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	33.29億円 (2026年3月末時点)
国内	株式	

DCグッドカンパニー

(社会的責任投資)

CLICK

商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	228.67億円 (2026年3月末時点)
国内	株式	

上記の3ファンドは、同一の運用戦略に基づいて運用しています。

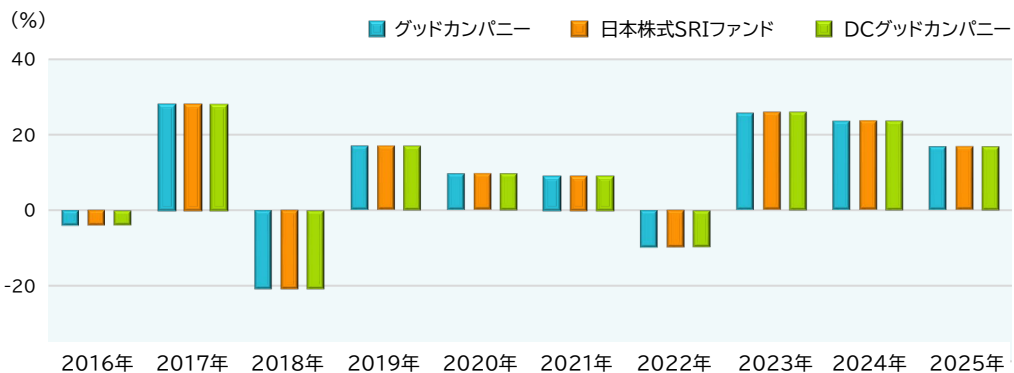
ファンドの目的

共通 わが国の株式に投資を行い、中長期的にベンチマークであるTOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

ファンドの特色

- 共通** CSR※を積極的に果たす企業に投資します。 ※CSR：企業の社会的責任
- わが国の株式を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。 TOPIX(東証株価指数)(配当込み)を中長期的に上回る投資成果を目指します。 中長期的にベンチマークであるTOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。
- 共通** 中長期にわたって安定的な成長が期待できる銘柄を選別します。

年間収益率の推移(暦年ベース)



※ 収益率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。



共通アクションプラン

■ アクションプラン該当の理由

当ファンドの運用成績は、社内を設定しているモニタリング基準に抵触しています。一定の評価期間において、お客さまに期待される成績を十分に実現できていないことから、運用改善策が必要と判断しています。

■ 今後の対応(対応方針)

運用状況のモニタリングを担う運用企画部が定期的に運用担当者から状況報告を受けており、引き続き個別銘柄の選択を中心に超過収益(アルファ)創出能力の向上が図られているかを確認し、運用・リスク委員会に報告しています。運用担当者は中長期的に企業価値の増大が期待できる成長性の高い銘柄の選定を進めており、市場環境に応じたリスクの取り方・運用成績となっているかを注視していきます。

7. アクションプラン

DCリサーチ・グロース ファンド



商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	37.66億円 (2026年3月末時点)
国内	株式	

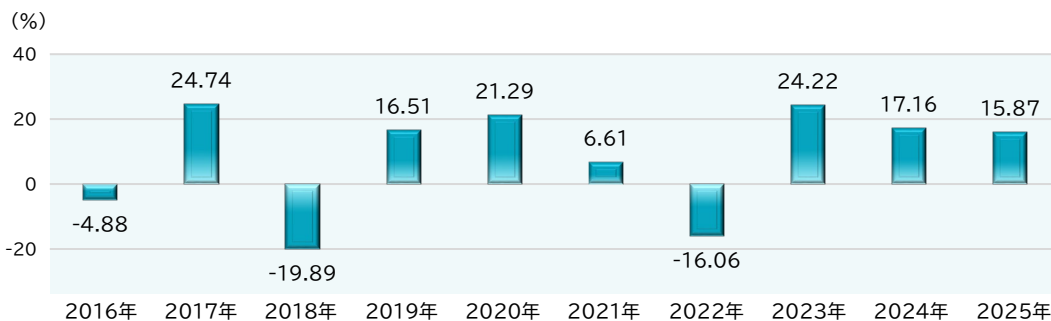
ファンドの目的

わが国の株式に投資を行い、中長期的にベンチマークであるTOPIX(東証株価指数)(配当込み)を上回る投資成果を目指します。

ファンドの特色

- 1 わが国の株式に投資し、ファミリーファンド方式で運用を行います。
- 2 TOPIX(東証株価指数)(配当込み)を中長期的に上回る投資成果を目指します。中長期にわたって安定的な成長が期待できる銘柄を選別します。
- 3 グロース投資スタイルで超過収益獲得を目指します。

年間収益率の推移(暦年ベース)



※ 収益率は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。



アクションプラン

■ アクションプラン該当の理由

定量評価において、設定来のアクティブリターンがマイナス、かつ設定来の月次勝率が50%を下回っているため基準に抵触しています。定性評価においても、設定来の絶対リターンはプラスであるものの、市場環境によらず長期にわたりお客さまに期待されるリターンを実現できていないことから、運用改善策が必要と判断しています。

■ 今後の対応(対応方針)

運用状況のモニタリングを担う運用企画部が定期的に運用担当者から状況報告を受けており、引き続き個別銘柄の選択を中心に超過収益(アルファ)創出能力の向上が図られているかを確認し、運用・リスク委員会に報告しています。運用担当者は慎重にリスク管理を行いつつ、中長期的に企業価値の増大が期待できる成長性の高い銘柄の選定を進めており、市場環境に応じたリスクの取り方・運用成績となっているかを注視していきます。

8. 繰上償還の検討

リアルアセット関連証券ファンド(毎月決算型)

CLICK

商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	1.17億円 (2026年3月末時点)
内外	資産複合	

リアルアセット関連証券ファンド(年2回決算型)

CLICK

商品分類		純資産総額
投資対象地	投資対象資産(収益の源泉)	4.04億円 (2026年3月末時点)
内外	資産複合	

ファンドの目的

安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います

投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います

ファンドの特色

- 共通** 世界のリアルアセット関連企業※が発行する証券に分散投資を行います。
※ ファンドにおいて「リアルアセット関連企業」とは、生活や経済成長の基盤であるリアルアセット(実物資産)の運営・管理等を行うインフラ及び不動産関連の企業をいいます。
- 共通** 主要投資対象ファンドにおける銘柄選定は、ボトムアップ・リサーチによるファンダメンタルズ分析に基づき、個別企業の収益性、成長性、価格の割安度及び資本構成全体等に着眼して行い、分散を考慮してポートフォリオを構築します

年間収益率の推移(暦年ベース)



※ 収益率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。




繰上償還の検討を行う理由

本ファンドの主要投資対象ファンドの運用残高が急減したことにより、本ファンドの運営にかかる費用のうち、主要投資対象ファンドの運用管理費以外の費用(売買執行等に発生する手数料など)が高まり、パフォーマンスへの悪影響が生じています。このような状況を踏まえ、適正な商品の提供の観点から、ご資金を返還することが受益者の皆様にとって合理的かつ有利であると商品委員会において判断し、繰上償還に係る書面手続きを行う方針といたしました※。

※書面決議の結果、「毎月決算型」、「年2回決算型」ともに繰上償還に賛成した受益者様の議決権数合計が、議決権を行使することができる受益者様の議決権(受益権総口数)の3分の2以上であったため、繰上償還が決定いたしました。(書面決議日 2026年6月10日)

	作成対象期間 2025年5月27日～2025年11月25日	
	毎月決算型	年2回決算型
総経費率(① + ② + ③)	6.85%	6.89%
①本ファンドの費用の比率	1.14%	1.14%
②主要投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.60%	0.60%
③主要投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	5.11%	5.15%

※各ファンドの総経費率および費用の内訳は以下の通りです。運用報告書(作成対象期間2025年5月27日～2025年11月25日)の情報をもとに作成しています。

- 
- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
 - ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
 - 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
 - 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構及び保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
 - 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
 - 資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
 - 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。